

明石市新ごみ処理施設整備・運営事業に係る

生活環境影響調査書

【概要版】

2025年（令和7年）1月

明 石 市

はじめに

明石市では、現在稼働する明石クリーンセンター（1999年（平成11年）3月竣工、以下「現有施設」という。）の後継施設として、現有施設の隣地（旧大久保清掃工場の跡地）に、新ごみ処理施設（以下「新施設」という。）を建設する予定である。

そのため、「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」（2006年（平成18年）9月、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部）に準拠して生活環境影響調査を実施し、影響の予測及び周辺地域の生活環境に及ぼす影響の分析を行った。

本書は、上記の生活環境影響調査の結果を取りまとめた生活環境影響調査書の概要を示すものである。

本書に掲載した地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製して情報を追記したものである。（測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 6JHf 234）
本製品を複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。

- 目 次 -

第1章 施設の設置に関する計画等	1-1
第1節 施設の設置者の名称及び所在地	1-1
第2節 施設の設置場所	1-1
第3節 事業の目的	1-1
第4節 事業の内容	1-4
1 事業の名称及び設置する施設の種類の種類	1-4
2 施設において処理する廃棄物の種類の種類	1-4
3 施設整備の理念・基本方針	1-4
4 施設の処理能力等	1-5
5 焼却施設の処理方式	1-5
6 施設の構造及び設備	1-7
7 施設配置・動線計画	1-15
8 公害防止対策	1-16
9 廃棄物運搬車両の運行計画	1-18
第5節 事業計画上想定する環境保全措置	1-20
第2章 事業計画地及びその周辺の概況	2-1
第1節 気象の状況	2-3
第2節 大気質の状況	2-3
第3節 騒音の状況	2-4
第4節 振動の状況	2-4
第5節 悪臭の状況	2-5
第3章 生活環境影響調査項目の選定	3-1
第1節 項目選定の方針	3-1
第2節 選定した項目及びその理由	3-3
第3節 選定しなかった項目及びその理由	3-3
第4章 総合的な評価	4-1
第1節 現況調査、予測、影響の分析の結果の整理	4-1
第2節 施設の設置に関する計画に反映する事項及びその内容	4-12
第3節 維持管理に関する計画に反映する事項及びその内容	4-13

第1章 施設の設置に関する計画等

第1節 施設の設置者の名称及び所在地

設 置 者：明石市
代表者氏名：市長 丸谷 聡子
所 在 地：兵庫県明石市中崎1丁目5番1号

第2節 施設の設置場所

兵庫県明石市大久保町松陰 1131 (図 1-1 参照)

第3節 事業の目的

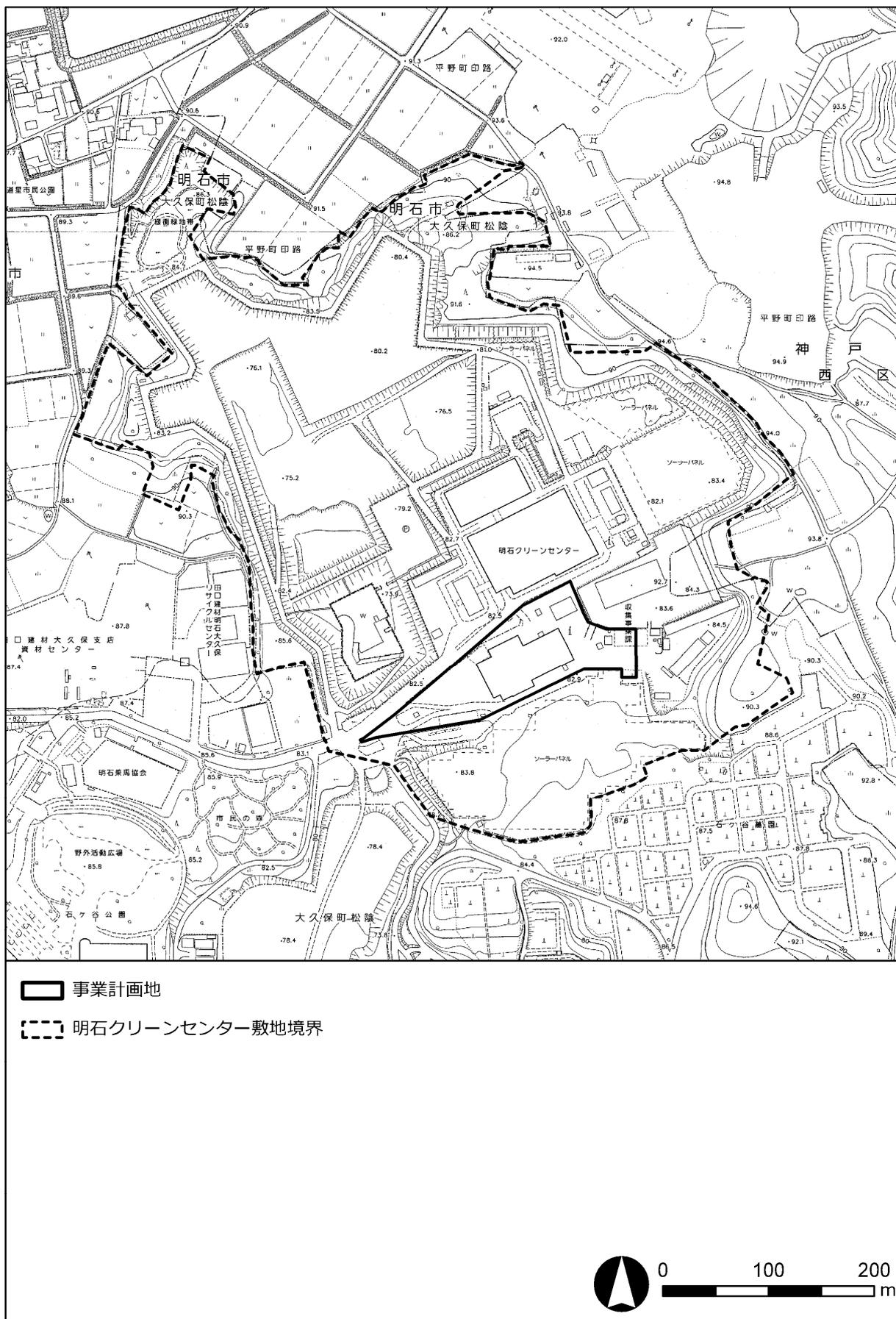
明石市では、行政区域全域において発生する家庭ごみ、事業系ごみの処理を行っており、このうち可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ及び粗大ごみについては、明石クリーンセンター（以下「現有施設」という。）において焼却処理又は破碎選別処理を行っている。

しかし、現有施設の焼却施設及び破碎選別施設は、1999年（平成11年）4月の稼働開始から25年以上が経過し、経年に伴う老朽化が進んでいる状況にあることから、適切なおみ処理の継続を行うため、現有施設を廃止し、明石クリーンセンター敷地内において清掃工場の更新を行う計画である。

本事業は、明石市にて発生する一般廃棄物を適正に処理・処分するために、環境保全に留意した新施設を整備するとともに、十分な環境保全対策を講じ、周辺地域の衛生的で快適な生活環境を確保することを目的とする。



図 1-1(1) 事業計画地の位置 (広域)



本地図は、神戸市発行の白地図を使用したものである。

図 1-1(2) 事業計画地の位置 (詳細)

第4節 事業の内容

1 事業の名称及び設置する施設の種類

名称：明石市新ごみ処理施設整備・運営事業

種類：廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第8条第1項に規定するごみ処理施設（一般廃棄物の焼却施設及び資源リサイクル施設）の設置の事業

2 施設において処理する廃棄物の種類

燃やせるごみ、燃やせないごみ、粗大ごみ、缶・びん・ペットボトル、プラスチック類及び一斉清掃ごみ（自治会などで実施する屋外一斉清掃による土砂やごみ。可燃・不燃含む。）とする。

3 施設整備の理念・基本方針

施設整備に当たっては、以下に示す4つの理念・基本方針のもと整備を進める。

理念1：環境保全に配慮し地球温暖化対策に貢献する施設

基本方針：

- ・環境保全に係る自主基準は、法規制基準と同等もしくはより厳しいものとします。
- ・地球温暖化対策に貢献するため、施設の省エネルギー化、自然エネルギーの導入、高効率発電技術の導入等を行い、二酸化炭素排出量を削減します。
- ・ごみ減量や地球温暖化対策等の情報提供や環境教育に関する施設を導入します。

理念2：安全・安心・安定的な処理が確保できる施設

基本方針：

- ・ごみ量・質による変動にも対応でき、長期間にわたり安定した稼働を持続的に行うことができる技術を導入します。
- ・事故が発生しないよう安全性を重視した設計を行うなど万全の対策を講じます。
- ・施設の建設及び運転にあたっては、市民の安心を確保するため、情報公開を行います。

理念3：災害廃棄物処理への対応ができる施設

基本方針：

- ・災害時に、平常時のごみに加えて災害廃棄物に対応できる処理能力を備えた設備を導入します。
- ・平常時に排出されるごみとは性状が異なる災害廃棄物への対応が可能な処理技術を備えます。
- ・地震により稼働不能とならないよう、耐震化や機器配置上の対策等を講じた、災害に強い施設とします。

理念4：経済性・効率性に優れた施設

基本方針：

- ・施設の建設から運営、維持管理及び改修までを含めたライフサイクルコストの適正化を図ります。
- ・将来の改修等を考慮した動線計画や作業スペースを確保し、その際のコストを最小限にできる施設とします。
- ・市の財政負担を軽減するために、環境省の交付金制度を活用できる施設とします。

4 施設の処理能力等

新施設の処理能力等の概要は、表 1-1 に示すとおりである。なお、当該内容は「明石市新ごみ処理施設整備基本計画」（2023 年（令和 5 年）3 月、明石市）及びプラントメーカーの資料等を参考に、生活環境影響調査の実施に際して検討した内容であり、今後の施設計画により変更となる可能性がある。

表 1-1 新施設の処理能力等の概要

施設区分	新施設の処理能力等	(参考) 現有施設の処理能力等
処理方式	焼却施設 ストーカ式焼却方式 資源リサイクル施設	焼却施設 ストーカ式焼却方式 破碎選別施設
処理能力	焼却施設 276t/日 (138t / 24 時間 × 2 炉) 災害廃棄物の処理量を含む。 資源リサイクル施設 破碎選別系統 25t/5 時間 資源化選別系統 30t/5 時間 缶・びん・ペットボトル 16t/5時間 プラスチック類 14t/5時間	焼却施設 480t/日 (160t/24 時間 × 3 炉) 破碎選別施設 破碎選別系統 60t/5 時間 資源化選別系統 32t/5 時間
運転時間	焼却施設 24 時間 資源リサイクル施設 5 時間/日	焼却施設 24 時間 破碎選別施設 5 時間/日
煙突高さ	59m	59m

5 焼却施設の処理方式

焼却施設の処理方式については、ごみを高温により燃焼・溶融する「熱処理方式」、ごみを熱又は微生物の働きにより分解する「原燃料化処理方式」及び熱処理方式により発生した灰を処理する「焼却灰処理方式」の 3 つの方式の採用を検討し、「3 施設整備の理念・基本方針」に掲げた 4 つの理念を勘案し、さらに安定稼働性、環境保全性、資源保全性及び経済性等の観点も踏まえ、最も優れていると考えられる「熱処理方式」を採用することとした。

さらに、熱処理方式については、「焼却方式」、「ガス化溶融方式」及び「焼却 + メタン発酵方式」の 3 つの方式の採用を検討し、再度「3 施設整備の理念・基本方針」に掲げた 4 つの理念に基づき比較するとともに、省エネルギー、環境保全、経済性等の観点から「ストーカ式焼却方式」を採用することとした。

ストーカ式焼却方式の概要は、表 1-2 に示すとおりである。

表 1-2 ストーカ式焼却方式の概要

<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみを火格子（ストーカ）の上で移動させて処理する方式である。 ・火格子（ストーカ）は、乾燥・燃焼・後燃焼の段階に分けられており、下部から燃焼用の空気を送り、炉上部からのふく射熱や燃焼ガスによる接触伝熱によって、ごみ（排ガス）を完全燃焼する。（約 800～950℃） ・近年では、同方式による低空気比燃焼による省エネ化、高温燃焼による排ガスのクリーン化、熱回収の効率化等の技術が進んでいる。
<p>構造図</p>	

注) 構造はプラントメーカーにより若干異なる部分がある。

6 施設の構造及び設備

「明石市新ごみ処理施設整備基本計画」（2023年（令和5年）3月、明石市）及びプラントメーカーの資料等を参考に、生活環境影響調査の実施に際して検討した内容を以下に示す。なお、当該内容は、今後の施設計画により変更となる可能性がある。

(1) 焼却施設

ア 基本仕様

焼却施設の基本仕様は、表 1-3 に示すとおりである。また、処理フローイメージは、図 1-2 に示すとおりである。

表 1-3 焼却施設の基本仕様

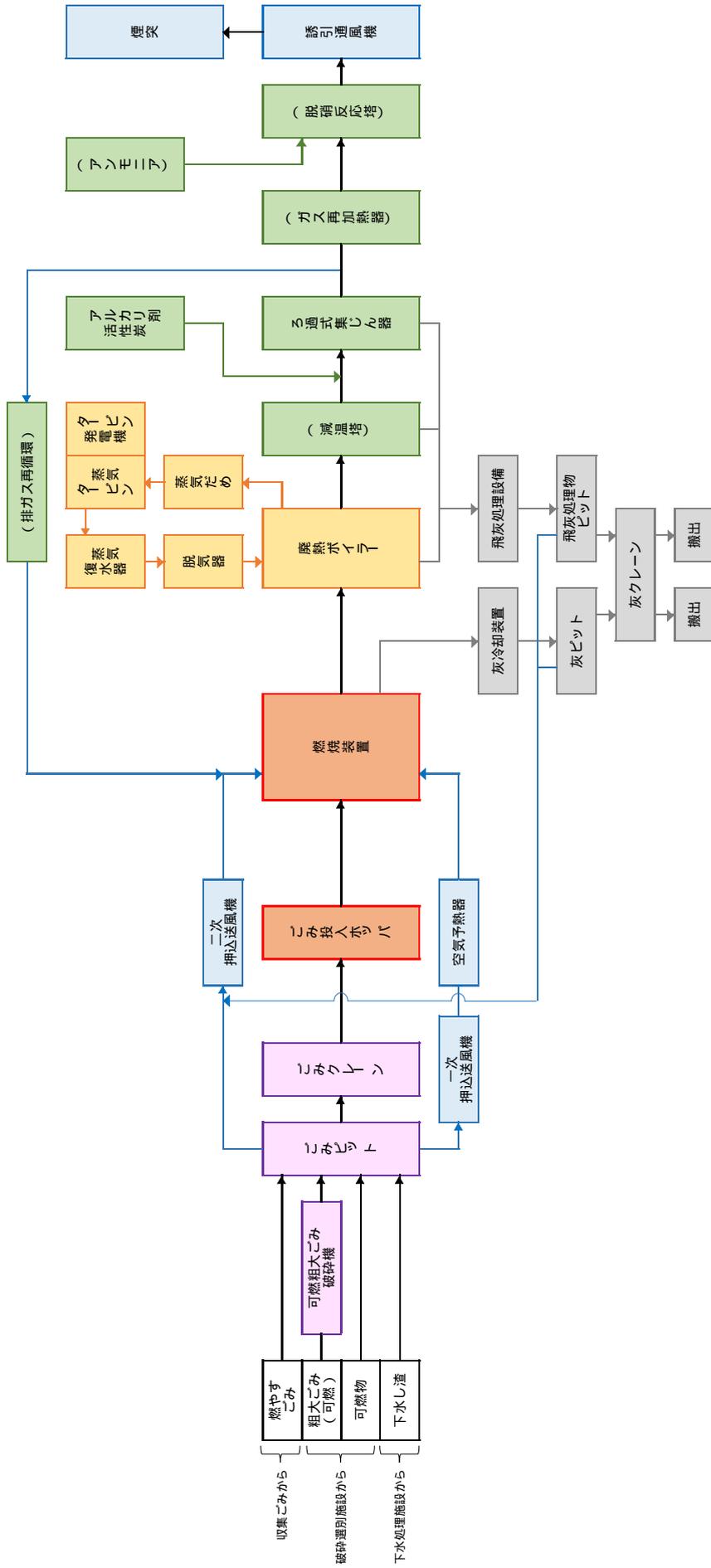
項目		新施設	現有施設
焼却方式		ストーカ式焼却方式	ストーカ式焼却方式
施設規模		276t / 日 (138t / 24 時間 × 2 炉) 災害廃棄物の処理量を含む。	480t / 日 (160t / 24 時間 × 3 炉)
煙突高		59 m	59 m
排ガス諸元	排ガス量(湿り)	72,000m ³ /h 注 ¹ (36,000m ³ /h × 2 炉稼働想定)	118,510m ³ /h 注 ³ (59,255m ³ /h × 2 炉稼働想定)
	排ガス量(乾き)	56,000m ³ /h 注 ¹ (28,000m ³ /h × 2 炉稼働想定)	97,620m ³ /h 注 ³ (48,810m ³ /h × 2 炉稼働想定)
	排ガス温度	140 注 ²	187 注 ³
	硫黄酸化物注 ⁴	20 ppm 以下	20 ppm 以下
	窒素酸化物注 ⁴	50 ppm 以下	50 ppm 以下
	ばいじん注 ⁴	0.01 g/m ³ _N 以下	0.02 g/m ³ _N 以下
	塩化水素注 ⁴	30 ppm 以下	30 ppm 以下
	ダイオキシン類注 ⁴	0.1 ng-TEQ/m ³ _N 以下	0.5 ng-TEQ/m ³ _N 以下
	水銀注 ⁴	30 μg/m ³ _N 以下	-
余熱利用		発電及び場内利用（給湯等）	同左
公害防止設備		排ガス処理設備 等	同左
給水計画		上水及び地下水を使用する。	同左
排水計画		下水道放流を行う。	同左

注1) プラントメーカーからの提案を踏まえた最大のガス量で、今後の実施設計により減少する可能性がある。

注2) 新施設の煙突排ガスの拡散予測では、プラントメーカーからの提案値のうち、影響が大きくなる最も低い温度（140）を考慮している。

注3) 現有施設の排ガス量及び排ガス温度は、高質ごみ焼却時の設計値を示す。

注4) 乾きガス12%O₂換算値を示す。



括弧内は必要に応じて設置する。

図 1-2 焼却施設（ストーカ式焼却方式）処理フローイメージ

イ 受入・供給設備

受入・供給設備は、搬入されるごみ量、搬出される焼却残渣量等を計量する計量機、ごみ収集車がごみピットにごみを投入するために設けられるプラットホーム、ごみを一時的に貯えて収集量と焼却量を調整するごみピット及びごみピットからごみをホッパに投入するごみクレーン等で構成する。

ウ 燃焼設備

燃焼設備は、炉内に供給するごみを受け入れるごみホッパ、炉内にごみを円滑に供給するために設けられた給じん装置、ごみを焼却する燃焼装置、燃焼が円滑に行われるようにするための炉材等で構成された焼却炉本体、ごみ質の低下時あるいは焼却炉の始動又は停止時に補助燃料を適正に燃焼するための助燃装置等で構成する。

エ 燃焼ガス冷却設備

燃焼ガス冷却設備は、ごみの燃焼によって生じた高温の燃焼ガスを適正な温度に降下させるための設備であり、冷却方式はごみの焼却熱を有効に回収・利用するため「廃熱ボイラー」とする。本設備は、廃熱ボイラー及びその周辺設備（脱気器、蒸気だめ、蒸気復水器）で構成する。

オ 排ガス処理設備

排ガス処理設備は、燃焼によって発生する高温ガス中に含まれるばいじん、硫酸化物、塩化水素、窒素酸化物、ダイオキシン類、水銀及びその他有害物質を、環境保全目標値まで除去するために必要な除去設備、ろ過式集じん器等で構成する。

カ 余熱利用設備

本施設では、廃熱ボイラーから発生した蒸気を利用して、発電のためのタービン設備、燃焼空気加熱用予熱機を作動させる。また、蒸気を媒体として、熱交換器及び温水発生器などにより温水を発生させ、その温水を利用して、冷暖房設備、給湯設備などを作動させるものとする。

本施設での余熱利用は発電を基本とし、施設内電力利用のうえ、余剰電力は売電する。

余熱利用設備は、廃熱ボイラーにより発生した蒸気エネルギーを回収し電力に変換する蒸気タービン及び蒸気タービン発電機、その他の温水利用設備で構成する。

キ 通風設備

通風設備は、ごみを燃焼するために必要な空気を燃焼装置に送入する押込送風機、燃焼用空気を加熱する空気予熱器、燃焼した排ガスを排出する誘引通風機、燃焼ガスを大気に放出するための煙突、排ガスを燃焼設備から煙突まで導くための排ガスダクト（煙道）等で構成する。

ク 灰出し設備

灰出し設備は、主灰と飛灰を分けて処理・貯留・搬出できる設備とする。燃焼設備で完全に焼却した主灰の消火と冷却を行うための灰押出装置（灰冷却装置）、排ガス処理設備や燃焼ガス冷却設備から排出される飛灰を安定化処理する飛灰処理設備、灰を一時貯留するための灰ピット（主灰ピット及び飛灰処理物ピット）や灰クレーン、各設備間で主灰や飛灰を円滑かつ適正に移送する灰出コンベヤ等で構成する。

作業環境、機器の損傷を考慮して、焼却炉から灰ピットまでの灰搬出ルートについては極力簡素化を図るように、灰ピットの配置、搬出装置を計画する。

ケ 排水処理設備

排水処理設備は、場内から発生する汚濁排水を処理するものであり、ごみピット汚水はろ過した上で炉内に噴霧する。プラント系排水（有機系、無機系）の排水は、一定の処理を行いプラント内で再利用するとともに、余剰分は排水基準に適合するよう処理した後、下水道放流することとする。また、下水放流のため、生活排水の処理設備は設置しない。

コ 換気・除じん・脱臭設備

プラットホーム及びごみピット、灰ピットを負圧に保ち、臭気や粉じんを外部に漏洩させないようにするために、必要な換気設備を設ける。

ごみピット内の空気は、運転時は燃焼用空気として用いる。全炉停止時には脱臭装置及び除じん装置を通し、屋外に排出する。灰ピット内の空気も、可能な限り燃焼用空気として用いることとする（この場合、全炉停止時は、灰ピットにおいても、ごみピットと同様の対策の上、排気することとする。）が、不可能な場合は環境集じん器により除じん後に屋外排気することとする。

また、炉室内を負圧に保ち、かつ機器の放熱を効率的に外部に排出するために必要な換気設備を設ける。

サ 電気・ガス・水道等の設備

電気設備は、焼却施設棟、資源リサイクル施設棟及び計量棟等の受電設備を含むもので、本施設の運転に必要なすべての電気設備とし、受変電設備、電力監視設備、非常用電源設備等で構成する。なお、非常用電源設備は、受電系統の事故や災害等による給電が断たれた緊急時においても、安全に炉を停止するとともに、非常用電源設備の電力を用いて施設の起動（冷間停止状態から定格運転まで）が可能となるよう、必要容量を有するものとする。

ガス設備について、管理諸室でガス機器を使用する場合はプロパンガス又は都市ガスとする。

給水設備について、上水及び地下水を使用する。

シ その他の設備

計装設備として、焼却施設の運転に必要な自動制御設備、遠方監視、遠隔操作装置及びこれらに係る計器（指示、記録、積算、警報等）、操作機器、ITV、計装盤、データ処理装置、計装用空気圧縮機、配管、配線等を設ける。また、公害防止監視装置も含む。

また雑設備として、雑用空気圧縮機や清掃用煤吹装置、真空掃除装置、炉内清掃時用ろ過式集じん器、床洗浄装置を設ける。

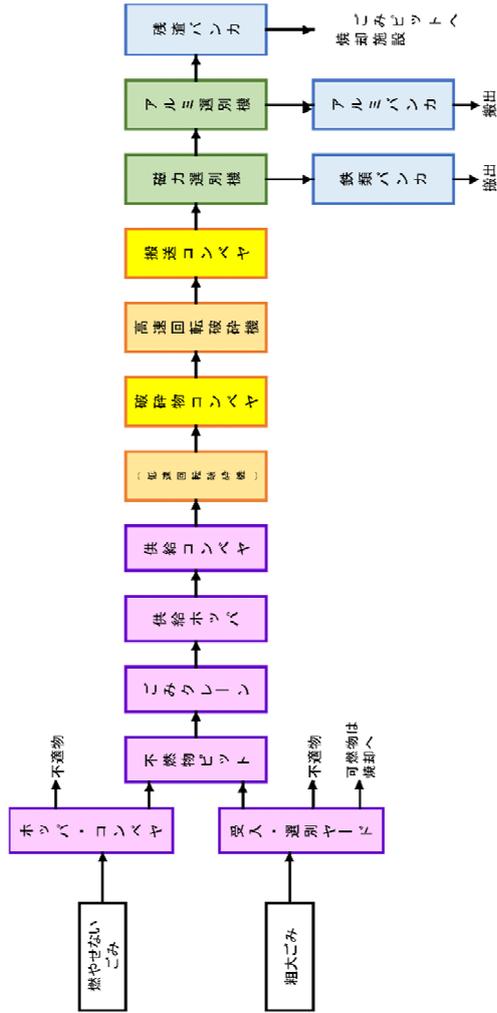
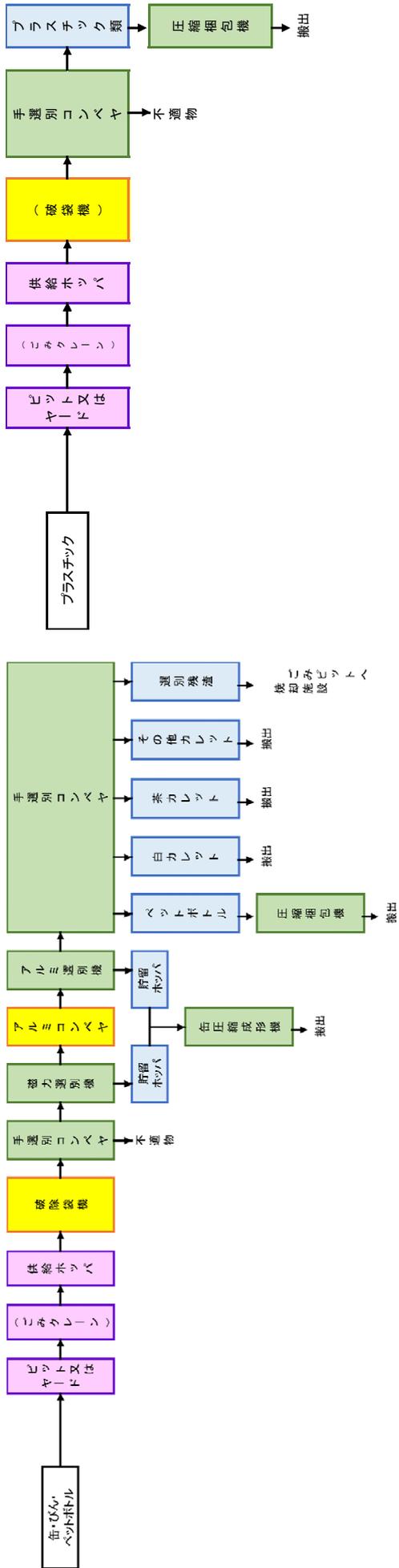
(2) 資源リサイクル施設

ア 基本仕様

資源リサイクル施設の基本仕様は、表 1-4 に示すとおりである。また、処理フローイメージは、図 1-3 に示すとおりである。

表 1-4 破砕選別施設・資源リサイクル施設の基本仕様

項目	新施設（資源リサイクル施設）	現有施設（破砕選別施設）
施設規模	破砕選別系統 25t/5 時間 資源化選別系統 30t/5 時間 缶・びん・ペットボトル 16t/5時間 プラスチック類 14t/5 時間	破砕選別系統 60t/5 時間 資源化選別系統 32t/5 時間 缶・びん・ペットボトル 32t/5時間
処理対象	缶・びん・ペットボトル プラスチック類 燃やせないごみ 粗大ごみ 不燃系一斉清掃ごみ 災害廃棄物	缶・びん・ペットボトル 燃やせないごみ 粗大ごみ 不燃系一斉清掃ごみ 災害廃棄物
公害防止設備	集じん設備等	同左
給水計画	上水及び地下水を使用する。	同左
排水計画	下水道放流を行う。	同左



※括弧内は必要に応じて設置する。

図 1-3 資源リサイクル施設処理フローイメージ

イ 共通設備

資源リサイクル施設の計量器は、焼却施設と共有とする。

プラットホームは、ごみ収集・運搬車両からごみピットや各ヤードへの搬入作業が容易かつ安全に行え、渋滞等をできる限り生じないように十分なスペースを確保する。なお、プラットホームは1階（GL±0m程度）とする。

運搬車両の出入口には、車両を検知して自動で開閉する鋼製・両引き式のプラットホーム出入口扉を設け、ごみ収集車が自動扉から進入後、完全に扉が閉じられ、プラットホーム内の臭気が屋外に漏洩しないものとする。また、エアカーテンを設ける等、臭気を極力遮断できるようにする。

清掃のため全域を水洗い可能なよう散水栓を設け、排水溝はごみ投入位置における搬入車両の前端部よりやや中央寄りに設ける。また排水溝は清掃が容易な構造とする。

ウ 持込ごみ受入ヤード

家庭系の持込ごみ（燃やせるごみ・燃やせないごみ・粗大ごみ等）の受入ヤードを設ける（資源リサイクル施設とは別に、敷地内に設けることとする）。選別作業は、手作業及びショベルローダー等により行う。

エ 粗大ごみ受入・選別ヤード

直営・委託収集分の粗大ごみの受入、及び持込ごみ受入ヤードにて選別した粗大ごみの受入ヤードを設ける。選別作業は、手作業及びショベルローダー等により行う。

オ 燃やせないごみ受入・選別ヤード

直営・委託収集や許可業者分の燃やせないごみの受入、及び持込ごみ受入ヤードにて選別した燃やせないごみの受入ヤードを設ける。選別作業は、手作業及びショベルローダー等により行う。

カ 不燃物ピット及び破碎・選別ライン

各ヤードにて選別した不燃性のものの貯留を行うため、ピットを設け、ごみクレーンにより不燃ごみ破碎設備に供給する。不燃物の破碎設備は、剪断式破碎機及び回転式破碎機を設置する。

破碎機及び搬送コンベヤでは、騒音・振動への対策及び引火・爆発への安全対策を十分に図る。特に破碎機は爆発・火災等の恐れがある可燃性ガスが内部に滞留しない構造とし、ガス検知器を設け、中央操作室に警報できるものとする。また、爆発・火災対策及び騒音・振動対策上、回転式破碎機は破碎機設備室に収納する。破碎機設備室扉は内開きとし、「閉」時でなければ破碎機が運転できないよう、ドアロック機構を設ける等安全対策を施す。爆発により火災が発生した場合には、破碎機内を自動消火散水することができる設備を設ける。また、破碎物の搬送コンベヤ上では閉塞が起こらない工夫を行う、閉塞時に速やかに対処が可能なよう適切な箇所に点検口を設ける等、維持管理の効率性が十分に高いものとする。

破碎したものについては、機械選別設備により鉄・アルミ・破碎残渣に選別し、鉄・アルミはバンカに貯留・搬出し、破碎残渣は焼却施設のごみピットを利用し処理する。

キ プラスチック類貯留ピット（又はヤード）及び選別ライン

直営・委託収集分のプラスチック類の受け入れ及び持込ごみ受入ヤードにて受け入れたプラスチックの貯留を行うためのピット（又はヤード）を設け、ごみクレーン（又はショベルローダー等）により選別設備に供給する。

選別ラインは、手選別とする。手作業により不純物の除去を行う。なお、手選別コンベヤでは騒音・悪臭・粉じん等の対策を行い、作業環境に配慮する。

貯留方法として、圧縮梱包機にて圧縮し成型品としヤードに貯留後、資源化する。なお、選別時に取り除いた不純物の貯留は、不燃物処理ラインの貯留設備と共用する。

ク 缶・びん・ペットボトル貯留ヤード（又はピット）及び選別ライン

直営・委託収集分の缶・びん・ペットボトルの受け入れ及び持込ごみ受入ヤードにて受け入れた缶・びん・ペットボトルの貯留を行うためのヤード（又はピット）を設け、ショベルローダー等（又はクレーン）により選別設備に供給する。

選別ラインは、手選別及び機械選別とする。手作業により不純物の除去とともに均等化を図り、磁選機によりスチール缶を回収し、アルミ選別機によりアルミ缶の回収、手作業によりペットボトルの選別及びびんの色分け（白・茶・その他）及びガラス残渣への選別を行う。なお、手選別コンベヤでは騒音・悪臭・粉じん等の対策を行い、作業環境に配慮する。

貯留方法として、缶は、缶圧縮機にて圧縮して成型品としヤードに貯留し、ペットボトルは圧縮梱包機にて圧縮成型品としヤードに貯留し、びんは色別（白・茶・その他）及びガラス残渣に分けてヤードに貯留後、それぞれ資源化する。なお、選別時に取り除いた不純物の貯留は、不燃物処理ラインの貯留設備と共用する。

ケ 非鉄金属・鉄くず・小型家電等貯留ヤード

各種ヤードや手選別ラインにおいて取り出した有価物（小型家電製品、銅、鉛、真鍮、鉄、アルミ等）や適正処理困難物等を各コンテナボックスに積み込み、本ヤードに貯留する。

コ 危険物・有害物・適正処理困難物保管ヤード

各種ヤードや手選別ラインにおいて取り出した危険物、有害物や適正処理困難物を一時的に保管するヤードを設ける。

危険物や有害物は、種類ごとにボックスに入れ、シャッター付のヤードに保管し、随時、専門業者に処理を依頼する。処理困難物はヤードに保管し、随時、専門業者への処理依頼、又はマットレス等は破碎設備での処理を行う。

サ 搬送設備

各処理ラインの受入・供給設備から貯留設備までの間は、搬送コンベヤ及び各処理設備投入ホッパ等で接続する。特に破碎処理ラインの搬送コンベヤ上においては、火災が発生しやすいため、随所に火災検知機及び散水設備等を設置し、万全の対策を行う。また、コンベヤ防じんカバーは分割して容易に着脱できる構造とするなど、出火時の消火活動が円滑に行なわれるよう配慮した設計とする。

シ 換気・除じん・脱臭設備

臭気や粉じんを外部に漏洩させないようにするために、各受入ホッパ、各搬送コンベヤ、各コンベヤ乗継部、各選別装置、その他粉じん発生箇所の粉じんに吸引設備を設ける。吸引した粉じんは、サイクロンやバグフィルタにより集じんした後、破碎可燃物の貯留設備に搬送する。

また、各受入ホッパ、手選別室、各ヤード、その他必要な箇所の室内空気は吸引し、脱臭装置を通し、屋外に排出する。

ス 排水処理設備

資源リサイクル施設のプラント排水は、焼却施設に送り、処理する。

セ 電気・ガス・水道等の設備

電気設備は、焼却施設棟からの受電設備を含み、資源リサイクル施設の運転に必要なすべての電気設備とする。ガス設備について、管理諸室でガス機器を使用する場合はプロパンガス又は都市ガスとする。給水設備について、本施設では上水及び地下水を使用する。

ソ その他の設備

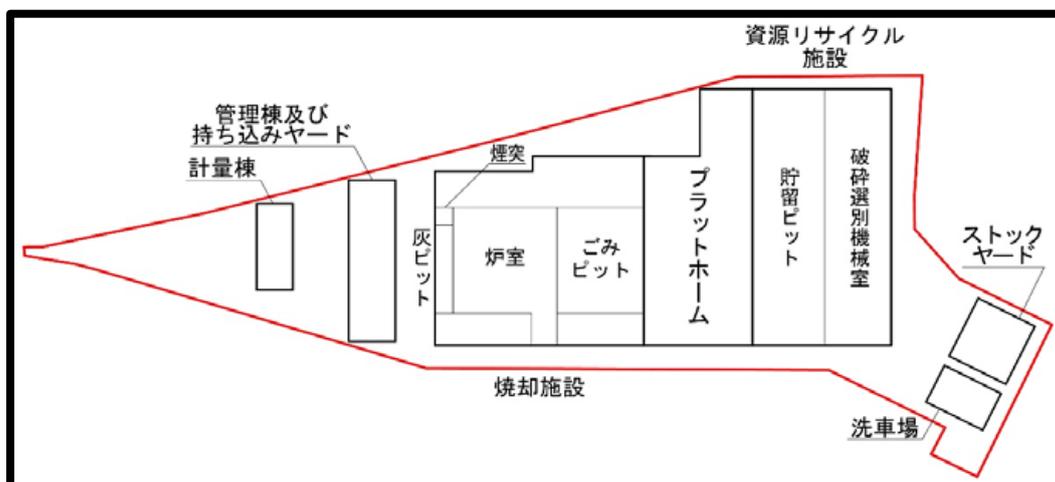
計装設備として資源リサイクル施設の運転に必要な自動制御設備、遠方監視、遠隔操作装置及びこれらに係る計器（指示、記録、積算、警報等）、操作機器、ITV、計装盤、データ処理装置、計装用空気圧縮機、配管、配線等を設ける。

また、雑設備として、雑用空気圧縮機や清掃用装置（可搬式掃除機、床洗浄装置等）等を設ける。

7 施設配置・動線計画

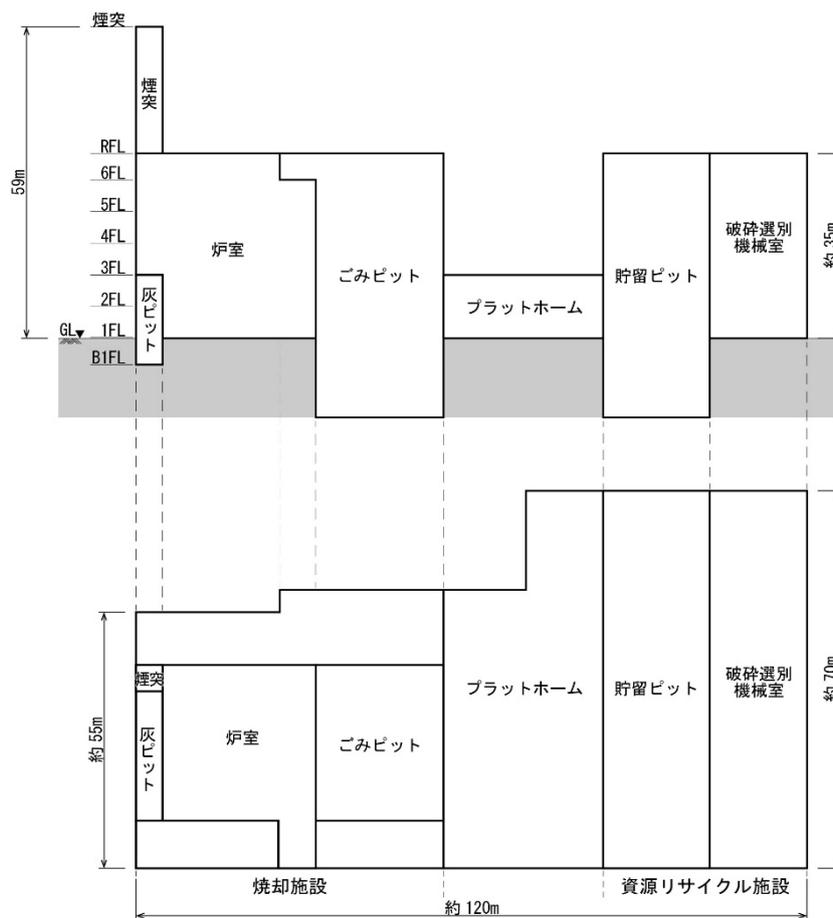
施設配置のイメージは図 1-4 及び図 1-5 に示すとおりである。

なお、安全性確保のため、見学者や持ち込みの一般車両動線及び歩行動線は、原則としてごみ搬入車・搬出車等の車両動線とは分離する。



注) 複数のプラントメーカーからの提供資料を踏まえた生活環境影響調査上の想定であり、今後の施設計画により変更となる可能性がある。

図 1-4 施設配置のイメージ (配置図)



注) 複数のプラントメーカーからの提供資料を踏まえた生活環境影響調査上の想定であり、今後の施設計画により変更となる可能性がある。

図 1-5 施設配置のイメージ (焼却施設・資源リサイクル施設)

8 公害防止対策

(1) 大気汚染（排ガス）に係る公害防止基準値

本施設における排ガス基準値（乾きガス 12%O₂換算値）は、法規制値又はそれ以上の性能を有する施設とし、以下のとおり設定する。

硫黄酸化物	20	ppm	以下
窒素酸化物	50	ppm	以下
ばいじん	0.01	g/m ³ _N	以下
塩化水素	30	ppm	以下
ダイオキシン類	0.1	ng-TEQ/m ³ _N	以下
水銀	30	μg/m ³ _N	以下

(2) 水質に係る公害防止基準値（排水基準値）

施設内の排水については、公共用水域へは放流せず、下水道放流を基本とする。

プラント排水及び生活排水は公共下水道に接続するため、表 1-5 に示す下水排除基準値を遵守する。

表 1-5(1) 下水排除基準

項目	基準値		
	一律基準 (下水道法)	上乗せ基準 (明石市下水道条例)	自主基準
カドミウム及びその化合物	0.03 mg/L 以下	0.03 mg/L 以下	0.03 mg/L 以下
シアン化合物	1 mg/L 以下	0.3 mg/L 以下	0.3 mg/L 以下
有機燐化合物	1 mg/L 以下	0.3 mg/L 以下	0.3 mg/L 以下
鉛及びその化合物	0.1 mg/L 以下	0.1 mg/L 以下	0.1 mg/L 以下
六価クロム化合物	0.5 mg/L 以下	0.1 mg/L 以下	0.1 mg/L 以下
砒素及びその化合物	0.1 mg/L 以下	0.05 mg/L 以下	0.05 mg/L 以下
水銀及びアルキル水銀、 その他の水銀化合物(総水銀)	0.005 mg/L 以下	-	0.005 mg/L 以下
アルキル水銀化合物	検出されないこと	-	検出されないこと
PCB	0.003 mg/L 以下	-	-
トリクロロエチレン	0.1 mg/L 以下	-	-
テトラクロロエチレン	0.1 mg/L 以下	-	-
ジクロロメタン	0.2 mg/L 以下	-	-
四塩化炭素	0.02 mg/L 以下	-	-
1,2-ジクロロエタン	0.04 mg/L 以下	-	-
1,1-ジクロロエチレン	1 mg/L 以下	-	-
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4 mg/L 以下	-	-
1,1,1-トリクロロエタン	3 mg/L 以下	-	-
1,1,2-トリクロロエタン	0.06 mg/L 以下	-	-
1,3-ジクロロプロペン	0.02 mg/L 以下	-	-
チウラム	0.06 mg/L 以下	-	-
シマジン	0.03 mg/L 以下	-	-
チオベンカルブ	0.2 mg/L 以下	-	-
ベンゼン	0.1 mg/L 以下	-	-
セレン及びその化合物	0.1 mg/L 以下	-	-
ほう素及びその化合物	10 mg/L 以下	-	-
ふっ素及びその化合物	8 mg/L 以下	-	-
1,4-ジオキサン	0.5 mg/L 以下	-	-
ダイオキシン類 ダイオキシン類対策特別措置法	10 pg-TEQ/L 以下	-	-

表 1-5(2) 下水排除基準

項目	基準値		
	一律基準 (下水道法)	上乗せ基準 (明石市下水道条例)	自主基準
施設損 傷項目	温度	-	45 未満
	沃素消費量	-	220 mg/L 未満
処理可 能項目	pH(水素イオン濃度(水素指数))	-	5を超え9 未満
	BOD(生物化学的酸素要求量)	-	600 mg/L 未満
	SS(浮遊物質量)	-	600 mg/L 未満
	n-ヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	-	5 mg/L 以下
	n-ヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)	-	30 mg/L 以下
			20 mg/L 以下
処理困 難物	フェノール類	5 mg/L 以下	-
	銅及びその化合物	3 mg/L 以下	-
	亜鉛及びその化合物	2 mg/L 以下	-
	鉄及びその化合物(溶解性)	10 mg/L 以下	-
	マンガン及びその化合物(溶解性)	10 mg/L 以下	-
	クロム及びその化合物	2 mg/L 以下	-

(3) 騒音に係る公害防止基準値

敷地境界線上で、以下に示す騒音規制法に基づく基準値及び自主基準値以下とする。

朝	(6:00 ~ 8:00)	45dB 以下
昼間	(8:00 ~ 18:00)	60dB 以下
夕	(18:00 ~ 22:00)	45dB 以下
夜間	(22:00 ~ 翌 6:00)	40dB 以下

(4) 振動に係る公害防止基準値

敷地境界線上で、以下に示す振動規制法に基づく基準値以下とする。

昼間	(8:00 ~ 19:00)	60dB 以下
夜間	(19:00 ~ 翌 8:00)	55dB 以下

(5) 悪臭に係る公害防止基準値

敷地境界線上で、表 1-6 に示すとおり、悪臭防止法に基づく基準値及び自主基準値以下とする。

表 1-6 悪臭に係る公害防止基準値（敷地境界）

項目	基準値	
	敷地境界線の基準(悪臭防止法)	自主基準
アンモニア	5 ppm以下	1 ppm以下
メチルメルカプタン	0.01 ppm以下	0.002 ppm以下
硫化水素	0.2 ppm以下	0.02 ppm以下
硫化メチル	0.2 ppm以下	0.01 ppm以下
二硫化メチル	0.1 ppm以下	-
トリメチルアミン	0.07 ppm以下	0.005 ppm以下
アセトアルデヒド	0.5 ppm以下	-
プロピオンアルデヒド	0.5 ppm以下	-
ノルマルブチルアルデヒド	0.08 ppm以下	-
イソブチルアルデヒド	0.2 ppm以下	-
ノルマルバレールアルデヒド	0.05 ppm以下	-
イソバレールアルデヒド	0.01 ppm以下	-
イソブタノール	20 ppm以下	-
酢酸エチル	20 ppm以下	-
メチルイソブチルケトン	6 ppm以下	-
トルエン	60 ppm以下	-
スチレン	2 ppm以下	-
キシレン	5 ppm以下	-
プロピオン酸	0.2 ppm以下	-
ノルマル酪酸	0.006 ppm以下	-
ノルマル吉草酸	0.004 ppm以下	-
イソ吉草酸	0.01 ppm以下	-

9 廃棄物運搬車両の運行計画

事業計画地近傍における、新施設供用後の廃棄物運搬車両の主要な走行ルートは図 1-6 に示すとおりである。

新施設供用後の廃棄物運搬車両台数については、減少要因（明石市のごみ処理量は長期的に減量傾向にあり、将来的な減量が見込まれる）及び増加要因（現状実施されていないプラスチック類の分別収集が実施される）の両方が存在する。これらの要因を踏まえた上で、確実なごみの回収のために必要な廃棄物運搬車両台数について、今後検討する方針とするものとする。



図 1-6 主要な廃棄物等の搬出入車両の走行ルート

第5節 事業計画に想定する環境保全措置

本事業の実施に当たっては、周辺住居地域への環境負荷を可能な限り低減する観点で、以下に示す環境保全措置を行う方針である。

<大気質関係>

- ・最新の排ガス処理設備を採用し、法規制値より厳しい自主基準を厳守する。
- ・車両の維持管理を徹底し、車両から発生する排ガスの抑制を図る。
- ・施設内で発生した粉じんは、集じんダクトで吸引を行い、集じん装置、バグフィルタにより除去したうえで、施設外へ排出する。

<騒音・振動関係>

- ・騒音及び振動が特に大きな機器類については、設置場所の区画化や吸音材の使用等、必要な対策を実施する。
- ・車両の維持管理を徹底し、車両から発生する騒音及び振動の抑制を図る。

<悪臭関係>

- ・ごみピット内の空気を燃焼用空気として使用し、焼却炉内で悪臭の高温分解を行う。
- ・脱臭装置を設置し、運転停止時の悪臭漏洩防止と発生量の低減を図る。
- ・ごみピットを負圧に保つことにより、外部への悪臭漏洩を防止する。

第2章 事業計画地及びその周辺の概況

事業計画地及びその周囲（以下「調査区域」という。）の状況について、既存の文献又は資料の収集・整理により把握した。

調査区域は、本施設の稼働により影響を及ぼすおそれのある周辺の生活環境への影響を検討するため、図 2-1 に示す事業計画地近傍の範囲を基本とした。

ただし、広域に影響が及ぶおそれのある煙突排ガスの影響に関連する大気質や気象等の情報は、適宜範囲を広げて資料の収集・整理を行った。

なお、統計資料等により市単位での情報を整理する項目については、明石市及び神戸市（もしくは神戸市のうち西区）の全域（以下「調査対象地域」という。）を対象とした。

本概要版では、収集・整理した項目のうち、「第3章 生活環境影響調査項目の選定」にて、生活環境影響調査項目として選定した大気環境（気象・大気質・騒音・振動・悪臭）に係る内容の調査結果の概略を示す。

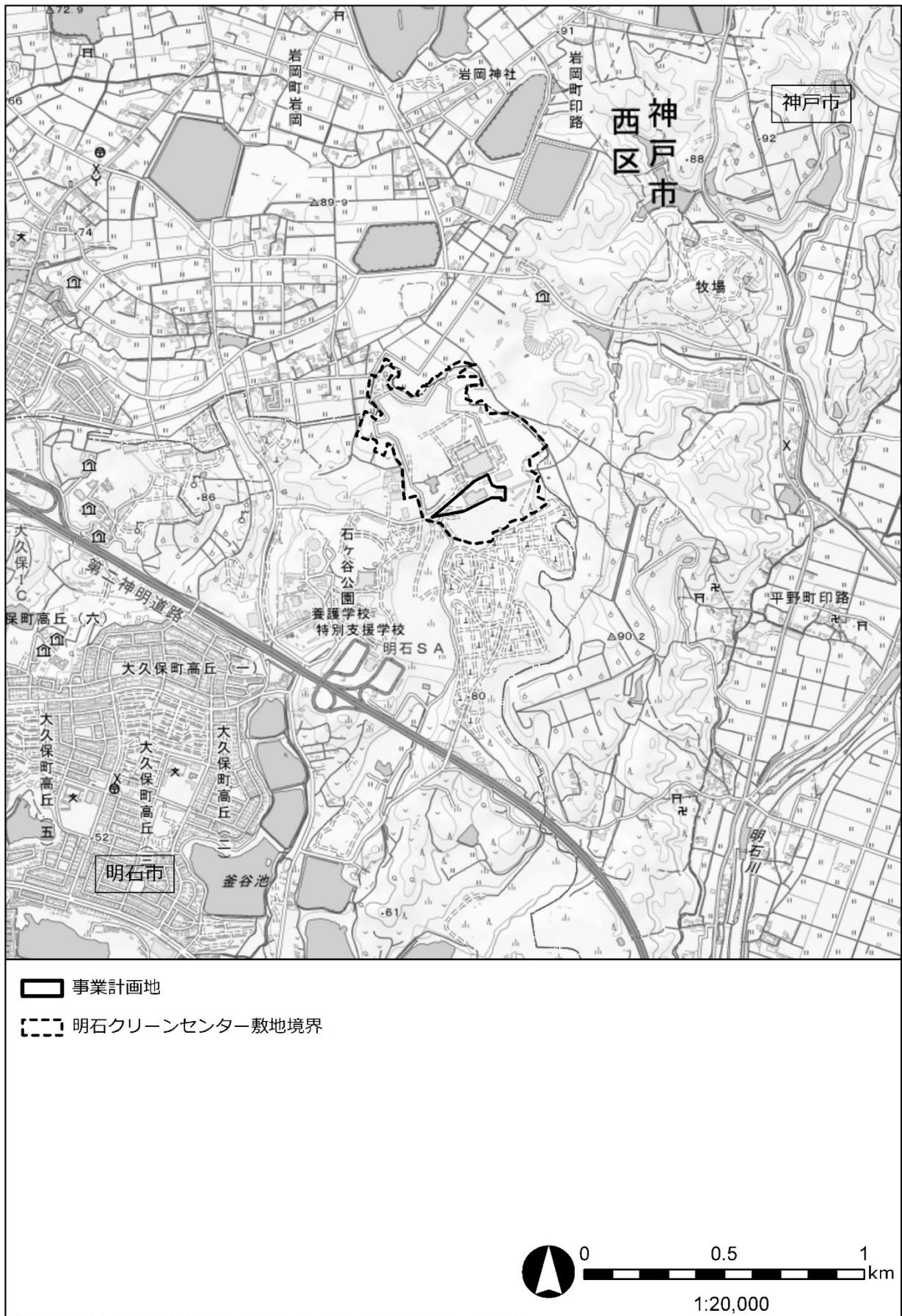


図 2-1 調査区域図

第1節 気象の状況

明石市の気候は典型的な瀬戸内海型であり、年平均気温は16℃前後、年間降水量は1,000mm前後と温暖・少雨が特徴となっており、四季を通じて温和な気候となっている。

第2節 大気質の状況

調査区域では大気質に係る情報は確認されなかったが、煙突排ガスの影響に関連する項目として、事業計画地を中心とする半径5kmの範囲内に位置する大気汚染常時監視測定局及び大久保浄化センターの測定結果を整理した。

1 二酸化硫黄

調査対象とした測定局において、二酸化硫黄に係る情報は確認されなかった。

2 窒素酸化物

2022年度（令和4年度）の窒素酸化物の測定結果は、全ての測定局で環境基準値を満足していた。また、2018年度（平成30年度）～2022年度（令和4年度）における二酸化窒素の年平均値は、ほぼ横ばいで推移している。

3 浮遊粒子状物質

2022年度（令和4年度）の浮遊粒子状物質の測定結果は、全ての測定局で環境基準値を満足していた。また、2018年度（平成30年度）～2022年度（令和4年度）における浮遊粒子状物質の年平均値は、減少傾向が確認された。

4 一酸化炭素

2022年度（令和4年度）の一酸化炭素の測定結果は、全ての測定局で環境基準値を満足していた。また、2018年度（平成30年度）～2022年度（令和4年度）における一酸化炭素の年平均値はほぼ横ばいで推移している。

5 光化学オキシダント

2022年度（令和4年度）の光化学オキシダントの測定結果は、環境基準を達成していない状況が確認された。また、2018年度（平成30年度）～2022年度（令和4年度）における光化学オキシダントの年平均値は、ほぼ横ばいで推移している。

6 微小粒子状物質

直近3年間の微小粒子状物質の測定結果は、全ての測定局で環境基準値を満足していた。

7 ダイオキシン類（大気）

大久保浄化センターにおける2023年度（令和5年度）のダイオキシン類の測定結果は、環境基準値を満足していた。

8 有害大気汚染物質

大久保浄化センターにおける2023年度（令和5年度）の有害大気汚染物質の測定結果は、各物質の環境基準値又は指針値を満足していた。

9 環境基準等

「環境基本法」（平成5年法律第91号）に基づき、二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、微小粒子状物質、ベンゼン等及びダイオキシン類について定められている。また、有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値（指針値）が定められている。

10 規制基準等

「大気汚染防止法」（昭和 43 年法律第 97 号）のほか「環境の保全と創造に関する条例」（平成 7 年兵庫県条例第 28 号）に基づき、工場及び事業場に設置される政令で定める施設（ばい煙発生施設）を対象に、硫黄酸化物、ばいじん、有害物質（塩化水素、窒素酸化物、水銀）の排出規制が定められている。

また、工場又は事業場が集合している地域であって、現行の規制方式によっては環境基準の確保が困難である地域にあつては、一定規模以上のばい煙発生施設を設置する工場又は事業場において総量規制基準が定められている。なお、調査対象地域は、「大気汚染防止法」第 5 条の 2 第 1 項に基づく政令で定める地域に指定されており、硫黄酸化物の総量規制基準が適用される。

ダイオキシン類については、ダイオキシン類対策特別措置法（平成 11 年法律第 105 号）に基づき、大気排出基準が定められている。

調査対象地域は、「自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法」（平成 4 年法律第 70 号）に基づく対策地域に該当する。

11 大気汚染に関する苦情の発生状況

調査対象地域における 2022 年度（令和 4 年度）の大気汚染に関する苦情件数は、明石市が 19 件、神戸市が 49 件となっている。

第3節 騒音の状況

1 自動車騒音の状況

調査区域では自動車騒音に係る情報は確認されなかった。

2 一般環境騒音の状況

調査区域では一般環境騒音に係る情報は確認されなかった。

3 環境基準等

「環境基本法」に基づき騒音に係る環境基準が定められている。

4 規制基準等

「騒音規制法」（昭和 45 年法律第 98 号）及び「環境の保全と創造に関する条例」に基づき、道路交通騒音の要請限度、工場騒音及び特定建設作業騒音の規制基準が定められている。

5 騒音に関する苦情の発生状況

調査対象地域における 2022 年度（令和 4 年度）の騒音に関する苦情件数は、明石市が 45 件、神戸市が 100 件となっている。

第4節 振動の状況

1 道路交通振動の状況

調査区域では道路交通振動に係る情報は確認されなかった。

2 一般環境振動の状況

調査区域では一般環境振動に係る情報は確認されなかった。

3 規制基準等

「振動規制法」（昭和 51 年法律第 64 号）及び「環境の保全と創造に関する条例」に基づき、道路交通振動の限度、工場振動及び特定建設作業振動の規制基準が定められている。

4 振動に関する苦情の発生状況

調査対象地域における 2022 年度（令和 4 年度）の振動に関する苦情件数は、明石市が 2 件、神戸市が 19 件となっている。

第5節 悪臭の状況

1 悪臭の状況

調査区域では悪臭に係る情報は確認されなかった。

2 規制基準等

調査対象地域である明石市、神戸市ともに全域が「悪臭防止法」（昭和46年法律第91号）に基づく規制地域になっている。

また、工場・事業場に対する悪臭防止法に基づく規制については、悪臭の原因となり生活環境を損なう恐れのある物質（アンモニアなど22種類の特定悪臭物質）の濃度による「物質濃度規制」と、人の嗅覚を用いた「臭気指数規制」の2つの規制方式が存在する。明石市については物質濃度規制、神戸市については臭気指数規制を採用している。

3 悪臭に関する苦情の発生状況

調査対象地域における2022年度（令和4年度）の悪臭に関する苦情件数は、明石市が6件、神戸市が80件となっている。

第3章 生活環境影響調査項目の選定

第1節 項目選定の方針

調査事項及び生活環境影響調査項目は、「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」（2006年（平成18年）9月、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部）に示された基本的な考え方（以下に示す）に基づき、事業計画等を勘案して選定する。

- ア 調査事項は、廃棄物処理施設の稼働並びに当該施設に係る廃棄物の搬出入及び保管に伴って生じる生活環境への影響に関するもので、大気環境（大気質、騒音、振動及び悪臭）及び水環境（水質及び地下水）である。
- イ 各調査事項の具体的な項目（例えば大気質の場合、二酸化硫黄、二酸化窒素などの項目であり、以下「生活環境影響調査項目」という。）については、廃棄物処理施設の種類及び規模並びに処理対象となる廃棄物の種類及び性状並びに地域特性を勘案して、必要な生活環境影響調査項目を申請者が選定するものとする。
- ウ 対象施設の構造上の特性や地域特性からみて、影響が発生することが想定されない調査事項（例えば、排水を排出しない施設の場合の水質汚濁など）については、具体的な調査を実施する必要がない。この場合、必要がないと判断した理由を記載しなければならない。

焼却施設及び破碎選別施設に関する生活環境影響要因と生活環境影響調査項目との関連は、廃棄物処理施設生活環境影響調査指針には、表 3-1 のように示されている。ここでは、同表の内容と事業計画の内容を勘案し、調査事項及び調査項目を選定した。

表 3-1(1) 生活環境影響要因と生活環境影響調査項目（焼却施設）

調査事項	生活環境影響要因		煙突排ガスの排出	施設排水の排出	施設の稼働	施設からの悪臭の漏洩	廃棄物運搬車両の走行
	生活環境影響調査項目						
大気環境	大気質	二酸化硫黄(SO ₂)					
		二酸化窒素(NO ₂)					
		浮遊粒子状物質(SPM)					
		塩化水素(HCl)					
		ダイオキシン類					
		その他必要な項目 ^注					
	騒音	騒音レベル					
振動	振動レベル						
悪臭	特定悪臭物質濃度 又は臭気指数（臭気濃度）						
水環境	水質	生物化学的酸素要求量(BOD) 又は化学的酸素要求量(COD)					
		浮遊物質(SS)					
		ダイオキシン類					
		その他必要な項目 ^注					

注) その他の必要な項目とは、処理される廃棄物の種類、性状及び立地特性等を考慮して、影響が予測される項目である。例えば、大気質については、煙突排ガスによる重金属類などがあげられ、また、水質については全窒素(T-N)、全リン(T-P) (T-N、T-Pを含む排水を、それらの排水基準が適用される水域に放流する場合)などがあげられる。

出典：「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」（2006年（平成18年）9月、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部）

表 3-1(2) 生活環境影響要因と生活環境影響調査項目（破碎選別施設）

調査事項	生活環境影響要因		施設排水の排出	施設の稼働	施設からの悪臭の漏洩	廃棄物運搬車両の走行
	生活環境影響調査項目					
大気環境	大気質	粉じん				
		二酸化窒素(NO ₂)				
		浮遊粒子状物質(SPM)				
	騒音	騒音レベル				
	振動	振動レベル				
	悪臭	特定悪臭物質濃度 又は臭気指数（臭気濃度）				
水環境	水質	生物化学的酸素要求量(BOD) 又は化学的酸素要求量(COD)				
		浮遊物質(SS)				
		その他必要な項目 ^注				

注) その他の必要な項目とは、処理される廃棄物の種類、性状及び立地特性等を考慮して、影響が予測される項目である。たとえば、全窒素(T-N)、全リン(T-P) (T-N、T-Pを含む排水を、それらの排水基準が適用される水域に放流する場合)などがあげられる。

出典：「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」（2006年（平成18年）9月、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部）

第2節 選定した項目及びその理由

生活環境影響調査項目は、事業特性及び地域特性を踏まえて、表 3-2 に示すとおり大気質、騒音、振動及び悪臭の 4 項目を選定した。

表 3-2 選定した項目及びその理由

調査事項	検討内容	
大気質	選定に係る検討結果	焼却施設の煙突排ガスの排出による影響、資源リサイクル施設の稼働による影響、両施設の廃棄物運搬車両の走行による影響が想定されるため選定した。
	調査項目	二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、塩化水素、ダイオキシン類、水銀、粉じんを調査項目として選定した。また、地上気象・上層気象・交通量調査を併せて行った。
騒音	選定に係る検討結果	焼却施設及び資源リサイクル施設の稼働による影響、両施設の廃棄物運搬車両の走行による影響が想定されるため選定した。
	調査項目	騒音レベル（等価騒音レベル（ L_{Aeq} ）及び騒音レベルの90%レンジの上端値（ L_5 ））を調査項目として選定した。また、交通量調査を併せて行った。
振動	選定に係る検討結果	焼却施設及び資源リサイクル施設の稼働による影響、両施設の廃棄物運搬車両の走行による影響が想定されるため選定した。
	調査項目	振動レベル（ L_{10} ）及び地盤卓越振動数を調査項目として選定した。また、交通量調査を併せて行った。
悪臭	選定に係る検討結果	焼却施設の煙突排ガスの排出及び施設休止時の炉内空気の排気による影響、焼却施設及び資源リサイクル施設からの悪臭の漏洩による影響が想定されるため選定した。
	調査項目	特定悪臭物質、臭気指数を調査項目として選定した。

第3節 選定しなかった項目及びその理由

事業特性及び地域特性を踏まえて、表 3-3 に示すとおり水質は生活環境影響調査項目に選定しなかった。

表 3-3 選定しなかった項目及びその理由

調査事項	検討内容	
水質	選定に係る検討結果	施設からの排水（プラント排水・生活排水）は、いずれも適正に処理した後、下水道への放流を行うため選定しなかった。

第4章 総合的な評価

第1節 現況調査、予測、影響の分析の結果の整理

生活環境影響調査項目として選定した「大気質」、「騒音」、「振動」、「悪臭」は、現地調査、予測、影響の分析の結果、環境への影響は、実行可能な範囲内で回避又は低減されているものと考えられる。

各項目の現地調査、予測、影響の分析の概要を表 4-1～表 4-10 に示す。

表 4-1 現況調査、予測、影響分析の概要

項目	現況調査	予測	環境保全措置	影響の分析																																																																																																																																																							
1. 煙突排 大気質 ガスの 排出に 伴う大 気質	<p>■気象</p> <p>【地上気象】 調査期間を通しての風速の期間平均は3.1m/s、日平均値の最高値は7.5m/s、日射量の期間平均は0.17kW/m²、放射収支量の期間平均は0.093kW/m²であった。 冬季・春季・秋季は北、夏季は南東の風向が卓越する結果であった。調査期間を通して北の風向が卓越する結果であった。</p> <p>【上層気象】 冬季の昼間は高度50m～1,500m付近にかけて西南西～西北西の風、夜間は西～北西の風が多く観測された。 春季の昼間は高度50m～1,500m付近にかけて南南東～西北西又は北北東の風、夜間は高度50m～700m付近にかけて北～北東の風、高度800m～1,500m付近にかけて西南西～西北西の風が多く観測された。 夏季の昼間は高度50m～1,500mにかけて南南東～南南西の風、夜間は高度50m～1,500mにかけて南東～南南西の風が多く観測された。 秋季の昼間は高度50m～1,500mにかけて北西～南南東の風、夜間は高度50m～1,500mにかけて西北西～北北東の風が多く観測された。</p> <p>■大気質 調査期間を通じて、二酸化硫黄の日平均値の期間平均値は各地点ともに0.002ppmであった。各地点の日平均値の最高値は0.003～0.004ppm、1時間値の最高値は0.010～0.011ppmであり、各地点ともに環境基準値を満足していた。 二酸化窒素の各地点における日平均値の期間平均値は0.009～0.012ppmであった。各地点の日平均値の最高値は0.015～0.022ppm、1時間値の最高値は0.025～0.046ppmであり、各地点ともに環境基準値を満足していた。 浮遊粒子状物質の各地点における日平均値の期間平均値は0.017～0.020mg/m³であった。各地点の日平均値の最高値は0.033～0.043mg/m³、1時間値の最高値は0.057～0.098mg/m³であり、各地点ともに環境基準値を満足していた。 塩化水素の期間平均値は各地点ともに定量下限値未満であり、目標環境濃度を満足していた。 ダイオキシン類の各地点における平均値は0.0012～0.020pg-TEQ/m³であり、各地点ともに環境基準値を満足していた。 水銀及びその化合物の平均値は各地点ともに定量下限値未満であり、指標値を満足していた。</p>	<p>【年平均値】 年平均値の最大着地濃度地点は、事業計画地北東側約500mの位置に出現し、付加濃度は二酸化硫黄が0.000042ppm、二酸化窒素が0.000076ppm、浮遊粒子状物質が0.000021mg/m³、塩化水素が0.000063ppm、ダイオキシン類が0.000211pg-TEQ/m³、水銀が0.000063μg/m³と予測される。 また、バックグラウンド濃度を含めた年平均値は、二酸化硫黄が0.002ppm、二酸化窒素が0.012ppm、浮遊粒子状物質が0.020mg/m³、塩化水素が0.001ppm、ダイオキシン類が0.020pg-TEQ/m³、水銀が0.004μg/m³と予測される。</p> <p><予測結果（煙突排ガスの排出に伴う大気質：年平均値）></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>予測地点</th> <th>将来濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">二酸化硫黄 (ppm)</td> <td>高丘サザンカ公園</td> <td>0.002</td> </tr> <tr> <td>サッカー・野球練習場</td> <td>0.002</td> </tr> <tr> <td>JA兵庫六甲</td> <td>0.002</td> </tr> <tr> <td>印路自治会館</td> <td>0.002</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">二酸化窒素 (ppm)</td> <td>高丘サザンカ公園</td> <td>0.012</td> </tr> <tr> <td>サッカー・野球練習場</td> <td>0.010</td> </tr> <tr> <td>JA兵庫六甲</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td>印路自治会館</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">浮遊粒子状物質 (mg/m³)</td> <td>高丘サザンカ公園</td> <td>0.018</td> </tr> <tr> <td>サッカー・野球練習場</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>JA兵庫六甲</td> <td>0.017</td> </tr> <tr> <td>印路自治会館</td> <td>0.019</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">塩化水素 (ppm)</td> <td>高丘サザンカ公園</td> <td>0.001</td> </tr> <tr> <td>サッカー・野球練習場</td> <td>0.001</td> </tr> <tr> <td>JA兵庫六甲</td> <td>0.001</td> </tr> <tr> <td>印路自治会館</td> <td>0.001</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ダイオキシン類 (pg-TEQ/m³)</td> <td>高丘サザンカ公園</td> <td>0.016</td> </tr> <tr> <td>サッカー・野球練習場</td> <td>0.015</td> </tr> <tr> <td>JA兵庫六甲</td> <td>0.012</td> </tr> <tr> <td>印路自治会館</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水銀 (μg/m³)</td> <td>高丘サザンカ公園</td> <td>0.004</td> </tr> <tr> <td>サッカー・野球練習場</td> <td>0.004</td> </tr> <tr> <td>JA兵庫六甲</td> <td>0.004</td> </tr> <tr> <td>印路自治会館</td> <td>0.004</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	予測地点	将来濃度	二酸化硫黄 (ppm)	高丘サザンカ公園	0.002	サッカー・野球練習場	0.002	JA兵庫六甲	0.002	印路自治会館	0.002	二酸化窒素 (ppm)	高丘サザンカ公園	0.012	サッカー・野球練習場	0.010	JA兵庫六甲	0.009	印路自治会館	0.009	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	高丘サザンカ公園	0.018	サッカー・野球練習場	0.020	JA兵庫六甲	0.017	印路自治会館	0.019	塩化水素 (ppm)	高丘サザンカ公園	0.001	サッカー・野球練習場	0.001	JA兵庫六甲	0.001	印路自治会館	0.001	ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)	高丘サザンカ公園	0.016	サッカー・野球練習場	0.015	JA兵庫六甲	0.012	印路自治会館	0.020	水銀 (μg/m ³)	高丘サザンカ公園	0.004	サッカー・野球練習場	0.004	JA兵庫六甲	0.004	印路自治会館	0.004						<p>■事業計画上実施することとしている環境保全措置 最新の排ガス処理設備を採用し、法規制値より厳しい自主基準を厳守する。</p> <p>■影響低減のために検討した環境保全措置 ・焼却炉内の適切な燃焼管理を行うことにより、排ガス量と大気汚染物質の発生を抑制する。 ・排ガス濃度や運転管理状況を常時監視し、適切に情報提供を行う。</p>	<p>■生活環境保全上の目標の設定 「環境基本法」第16条第1項の規定に基づき、大気の汚染に係る環境上の条件につき人の健康を保護する上で維持することが望ましい基準として「大気の汚染に係る環境基準について」及び「二酸化窒素に係る環境基準について」等が定められている。 塩化水素については、日本産業衛生学会「許容限度に関する委員会報告」において、労働環境濃度を参考とした目標環境濃度が定められている。 ダイオキシン類については、「ダイオキシン類対策特別措置法」に基づく大気汚染に係るダイオキシン類の環境基準が定められている。 水銀については、「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について」において、年平均の指針値が示されている。 これらの基準等を生活環境保全上の目標とした。</p> <p>■生活環境保全上の目標との整合性 【年平均値】 施設の稼働に伴う大気質の年平均値等は、以下に示すとおり生活環境保全上の目標値を満足することから、生活環境保全上の目標との整合は図られているものと評価する。</p> <p><影響分析の結果（煙突排ガスの排出に伴う大気質：年平均値）></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>予測地点</th> <th>将来濃度</th> <th>日平均値^注</th> <th>環境保全目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">二酸化硫黄 (ppm)</td> <td>高丘サザンカ公園</td> <td>0.002</td> <td>0.005</td> <td rowspan="4">0.04 以下</td> </tr> <tr> <td>サッカー・野球練習場</td> <td>0.002</td> <td>0.005</td> </tr> <tr> <td>JA 兵庫六甲</td> <td>0.002</td> <td>0.005</td> </tr> <tr> <td>印路自治会館</td> <td>0.002</td> <td>0.005</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">二酸化窒素 (ppm)</td> <td>高丘サザンカ公園</td> <td>0.012</td> <td>0.027</td> <td rowspan="4">0.04～ 0.06 までの ゾーン内 又は それ以下</td> </tr> <tr> <td>サッカー・野球練習場</td> <td>0.010</td> <td>0.023</td> </tr> <tr> <td>JA 兵庫六甲</td> <td>0.009</td> <td>0.021</td> </tr> <tr> <td>印路自治会館</td> <td>0.009</td> <td>0.021</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">浮遊粒子状物質 (mg/m³)</td> <td>高丘サザンカ公園</td> <td>0.018</td> <td>0.043</td> <td rowspan="4">0.10 以下</td> </tr> <tr> <td>サッカー・野球練習場</td> <td>0.020</td> <td>0.047</td> </tr> <tr> <td>JA 兵庫六甲</td> <td>0.017</td> <td>0.041</td> </tr> <tr> <td>印路自治会館</td> <td>0.019</td> <td>0.045</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">塩化水素 (ppm)</td> <td>高丘サザンカ公園</td> <td>0.001</td> <td></td> <td rowspan="4">0.02 以下</td> </tr> <tr> <td>サッカー・野球練習場</td> <td>0.001</td> <td></td> </tr> <tr> <td>JA 兵庫六甲</td> <td>0.001</td> <td></td> </tr> <tr> <td>印路自治会館</td> <td>0.001</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ダイオキシン類 (pg-TEQ/m³)</td> <td>高丘サザンカ公園</td> <td>0.016</td> <td></td> <td rowspan="4">0.6 以下</td> </tr> <tr> <td>サッカー・野球練習場</td> <td>0.015</td> <td></td> </tr> <tr> <td>JA 兵庫六甲</td> <td>0.012</td> <td></td> </tr> <tr> <td>印路自治会館</td> <td>0.020</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水銀 (μg/m³)</td> <td>高丘サザンカ公園</td> <td>0.004</td> <td></td> <td rowspan="4">0.04 以下</td> </tr> <tr> <td>サッカー・野球練習場</td> <td>0.004</td> <td></td> </tr> <tr> <td>JA 兵庫六甲</td> <td>0.004</td> <td></td> </tr> <tr> <td>印路自治会館</td> <td>0.004</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	予測地点	将来濃度	日平均値 ^注	環境保全目標値	二酸化硫黄 (ppm)	高丘サザンカ公園	0.002	0.005	0.04 以下	サッカー・野球練習場	0.002	0.005	JA 兵庫六甲	0.002	0.005	印路自治会館	0.002	0.005	二酸化窒素 (ppm)	高丘サザンカ公園	0.012	0.027	0.04～ 0.06 までの ゾーン内 又は それ以下	サッカー・野球練習場	0.010	0.023	JA 兵庫六甲	0.009	0.021	印路自治会館	0.009	0.021	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	高丘サザンカ公園	0.018	0.043	0.10 以下	サッカー・野球練習場	0.020	0.047	JA 兵庫六甲	0.017	0.041	印路自治会館	0.019	0.045	塩化水素 (ppm)	高丘サザンカ公園	0.001		0.02 以下	サッカー・野球練習場	0.001		JA 兵庫六甲	0.001		印路自治会館	0.001		ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)	高丘サザンカ公園	0.016		0.6 以下	サッカー・野球練習場	0.015		JA 兵庫六甲	0.012		印路自治会館	0.020		水銀 (μg/m ³)	高丘サザンカ公園	0.004		0.04 以下	サッカー・野球練習場	0.004		JA 兵庫六甲	0.004		印路自治会館	0.004	
項目	予測地点	将来濃度																																																																																																																																																									
二酸化硫黄 (ppm)	高丘サザンカ公園	0.002																																																																																																																																																									
	サッカー・野球練習場	0.002																																																																																																																																																									
	JA兵庫六甲	0.002																																																																																																																																																									
	印路自治会館	0.002																																																																																																																																																									
二酸化窒素 (ppm)	高丘サザンカ公園	0.012																																																																																																																																																									
	サッカー・野球練習場	0.010																																																																																																																																																									
	JA兵庫六甲	0.009																																																																																																																																																									
	印路自治会館	0.009																																																																																																																																																									
浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	高丘サザンカ公園	0.018																																																																																																																																																									
	サッカー・野球練習場	0.020																																																																																																																																																									
	JA兵庫六甲	0.017																																																																																																																																																									
	印路自治会館	0.019																																																																																																																																																									
塩化水素 (ppm)	高丘サザンカ公園	0.001																																																																																																																																																									
	サッカー・野球練習場	0.001																																																																																																																																																									
	JA兵庫六甲	0.001																																																																																																																																																									
	印路自治会館	0.001																																																																																																																																																									
ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)	高丘サザンカ公園	0.016																																																																																																																																																									
	サッカー・野球練習場	0.015																																																																																																																																																									
	JA兵庫六甲	0.012																																																																																																																																																									
	印路自治会館	0.020																																																																																																																																																									
水銀 (μg/m ³)	高丘サザンカ公園	0.004																																																																																																																																																									
	サッカー・野球練習場	0.004																																																																																																																																																									
	JA兵庫六甲	0.004																																																																																																																																																									
	印路自治会館	0.004																																																																																																																																																									
項目	予測地点	将来濃度	日平均値 ^注	環境保全目標値																																																																																																																																																							
二酸化硫黄 (ppm)	高丘サザンカ公園	0.002	0.005	0.04 以下																																																																																																																																																							
	サッカー・野球練習場	0.002	0.005																																																																																																																																																								
	JA 兵庫六甲	0.002	0.005																																																																																																																																																								
	印路自治会館	0.002	0.005																																																																																																																																																								
二酸化窒素 (ppm)	高丘サザンカ公園	0.012	0.027	0.04～ 0.06 までの ゾーン内 又は それ以下																																																																																																																																																							
	サッカー・野球練習場	0.010	0.023																																																																																																																																																								
	JA 兵庫六甲	0.009	0.021																																																																																																																																																								
	印路自治会館	0.009	0.021																																																																																																																																																								
浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	高丘サザンカ公園	0.018	0.043	0.10 以下																																																																																																																																																							
	サッカー・野球練習場	0.020	0.047																																																																																																																																																								
	JA 兵庫六甲	0.017	0.041																																																																																																																																																								
	印路自治会館	0.019	0.045																																																																																																																																																								
塩化水素 (ppm)	高丘サザンカ公園	0.001		0.02 以下																																																																																																																																																							
	サッカー・野球練習場	0.001																																																																																																																																																									
	JA 兵庫六甲	0.001																																																																																																																																																									
	印路自治会館	0.001																																																																																																																																																									
ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)	高丘サザンカ公園	0.016		0.6 以下																																																																																																																																																							
	サッカー・野球練習場	0.015																																																																																																																																																									
	JA 兵庫六甲	0.012																																																																																																																																																									
	印路自治会館	0.020																																																																																																																																																									
水銀 (μg/m ³)	高丘サザンカ公園	0.004		0.04 以下																																																																																																																																																							
	サッカー・野球練習場	0.004																																																																																																																																																									
	JA 兵庫六甲	0.004																																																																																																																																																									
	印路自治会館	0.004																																																																																																																																																									

注) 二酸化窒素は日平均値の年間98%値を、二酸化硫黄及び浮遊粒子状物質は日平均値の年間2%除外値を示す。

表 4-2 現況調査、予測、影響分析の概要

予測（大気質予測結果図：年平均値）

項目	予測（大気質予測結果図：年平均値）					
1. 大気質（続き） 煙突排ガスの排出に伴う大気質（続き）	<p>(単位：ppm)</p> <p><付加濃度：二酸化硫黄></p>	<p>(単位：ppm)</p> <p><付加濃度：二酸化窒素></p>	<p>(単位：mg/m³)</p> <p><付加濃度：浮遊粒子状物質></p>			
	<p>(単位：ppm)</p> <p><付加濃度：塩化水素></p>	<p>(単位：pg-TEQ/m³)</p> <p><付加濃度：ダイオキシン類></p>	<p>(単位：µg/m³)</p> <p><付加濃度：水銀></p>			

表 4-3 現況調査、予測、影響分析の概要

項目	現況調査	予測	環境保全措置	影響の分析																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
1. 大気質 (続き)		<p>【1時間値】(※予測結果表の付加濃度の数値は、予測地域における最大値を示す。)</p> <p>・一般的な気象条件時(大気安定度不安定時)</p> <p>1時間値の最大値は、煙突の風下約570mの位置に出現し、二酸化硫黄が0.012ppm、二酸化窒素が0.049ppm、浮遊粒子状物質が0.099mg/m^3、塩化水素が0.003ppm、ダイオキシン類が0.041pg-TEQ/m^3、水銀が$0.006\mu\text{g/m}^3$と予測される。</p> <p><予測結果(煙突排ガスの排出に伴う大気質：1時間値)(一般的な気象条件時(大気安定度不安定時))></p> <table border="1" data-bbox="578 331 1558 472"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">1時間値</th> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">1時間値</th> </tr> <tr> <th>付加濃度</th> <th>バックグランド濃度</th> <th>将来濃度</th> <th>付加濃度</th> <th>バックグランド濃度</th> <th>将来濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化硫黄(ppm)</td> <td>0.001</td> <td>0.011</td> <td>0.012</td> <td>塩化水素(ppm)</td> <td>0.002</td> <td>0.001</td> <td>0.003</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素(ppm)</td> <td>0.003</td> <td>0.046</td> <td>0.049</td> <td>ダイオキシン類(pg-TEQ/m³)</td> <td>0.007</td> <td>0.034</td> <td>0.041</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質(mg/m³)</td> <td>0.001</td> <td>0.098</td> <td>0.099</td> <td>水銀($\mu\text{g/m}^3$)</td> <td>0.002</td> <td>0.004</td> <td>0.006</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 最大付加濃度出現距離は煙突より約570mの位置である。</p> <p>・上層逆転層発生時</p> <p>1時間値の最大値は、煙突の風下約460mの位置に出現し、二酸化硫黄が0.021ppm、二酸化窒素が0.062ppm、浮遊粒子状物質が0.103mg/m^3、塩化水素が0.015ppm、ダイオキシン類が0.082pg-TEQ/m^3、水銀が$0.018\mu\text{g/m}^3$と予測される。</p> <p><予測結果(煙突排ガスの排出に伴う大気質：1時間値)(上層逆転層発生時)></p> <table border="1" data-bbox="578 625 1558 766"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">1時間値</th> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">1時間値</th> </tr> <tr> <th>付加濃度</th> <th>バックグランド濃度</th> <th>将来濃度</th> <th>付加濃度</th> <th>バックグランド濃度</th> <th>将来濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化硫黄(ppm)</td> <td>0.010</td> <td>0.011</td> <td>0.021</td> <td>塩化水素(ppm)</td> <td>0.014</td> <td>0.001</td> <td>0.015</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素(ppm)</td> <td>0.016</td> <td>0.046</td> <td>0.062</td> <td>ダイオキシン類(pg-TEQ/m³)</td> <td>0.048</td> <td>0.034</td> <td>0.082</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質(mg/m³)</td> <td>0.005</td> <td>0.098</td> <td>0.103</td> <td>水銀($\mu\text{g/m}^3$)</td> <td>0.014</td> <td>0.004</td> <td>0.018</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 最大付加濃度出現距離は煙突より約460mの位置である。</p> <p>・接地逆転層崩壊時(フュミゲーション発生時)</p> <p>1時間値の最大値は、煙突の風下約250mの位置に出現し、二酸化硫黄が0.020ppm、二酸化窒素が0.060ppm、浮遊粒子状物質が0.102mg/m^3、塩化水素が0.014ppm、ダイオキシン類が0.076pg-TEQ/m^3、水銀が$0.017\mu\text{g/m}^3$と予測される。</p> <p><予測結果(煙突排ガスの排出に伴う大気質：1時間値)(接地逆転層崩壊時(フュミゲーション発生時))></p> <table border="1" data-bbox="578 919 1558 1060"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">1時間値</th> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">1時間値</th> </tr> <tr> <th>付加濃度</th> <th>バックグランド濃度</th> <th>将来濃度</th> <th>付加濃度</th> <th>バックグランド濃度</th> <th>将来濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化硫黄(ppm)</td> <td>0.009</td> <td>0.011</td> <td>0.020</td> <td>塩化水素(ppm)</td> <td>0.013</td> <td>0.001</td> <td>0.014</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素(ppm)</td> <td>0.014</td> <td>0.046</td> <td>0.060</td> <td>ダイオキシン類(pg-TEQ/m³)</td> <td>0.042</td> <td>0.034</td> <td>0.076</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質(mg/m³)</td> <td>0.004</td> <td>0.098</td> <td>0.102</td> <td>水銀($\mu\text{g/m}^3$)</td> <td>0.013</td> <td>0.004</td> <td>0.017</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 最大付加濃度出現距離は煙突より約250mの位置である。</p> <p>・煙突ダウンウォッシュ発生時</p> <p>1時間値の最大値は、煙突の風下約260mの位置に出現し、二酸化硫黄が0.014ppm、二酸化窒素が0.050ppm、浮遊粒子状物質が0.099mg/m^3、塩化水素が0.005ppm、ダイオキシン類が0.046pg-TEQ/m^3、水銀が$0.008\mu\text{g/m}^3$と予測される。</p> <p><予測結果(煙突排ガスの排出に伴う大気質：1時間値)(煙突ダウンウォッシュ発生時)></p> <table border="1" data-bbox="578 1213 1558 1354"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">1時間値</th> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">1時間値</th> </tr> <tr> <th>付加濃度</th> <th>バックグランド濃度</th> <th>将来濃度</th> <th>付加濃度</th> <th>バックグランド濃度</th> <th>将来濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化硫黄(ppm)</td> <td>0.003</td> <td>0.011</td> <td>0.014</td> <td>塩化水素(ppm)</td> <td>0.004</td> <td>0.001</td> <td>0.005</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素(ppm)</td> <td>0.004</td> <td>0.046</td> <td>0.050</td> <td>ダイオキシン類(pg-TEQ/m³)</td> <td>0.012</td> <td>0.034</td> <td>0.046</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質(mg/m³)</td> <td>0.001</td> <td>0.098</td> <td>0.099</td> <td>水銀($\mu\text{g/m}^3$)</td> <td>0.004</td> <td>0.004</td> <td>0.008</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 最大付加濃度出現距離は煙突より約260mの位置である。</p> <p>・建物ダウンドラフト発生時</p> <p>1時間値の最大値は、煙突の風下約530mの位置に出現し、二酸化硫黄が0.013ppm、二酸化窒素が0.049ppm、浮遊粒子状物質が0.099mg/m^3、塩化水素が0.004ppm、ダイオキシン類が0.043pg-TEQ/m^3、水銀が$0.007\mu\text{g/m}^3$と予測される。</p> <p><予測結果(煙突排ガスの排出に伴う大気質：1時間値)(建物ダウンドラフト発生時)></p> <table border="1" data-bbox="578 1507 1558 1648"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">1時間値</th> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">1時間値</th> </tr> <tr> <th>付加濃度</th> <th>バックグランド濃度</th> <th>将来濃度</th> <th>付加濃度</th> <th>バックグランド濃度</th> <th>将来濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化硫黄(ppm)</td> <td>0.002</td> <td>0.011</td> <td>0.013</td> <td>塩化水素(ppm)</td> <td>0.003</td> <td>0.001</td> <td>0.004</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素(ppm)</td> <td>0.003</td> <td>0.046</td> <td>0.049</td> <td>ダイオキシン類(pg-TEQ/m³)</td> <td>0.009</td> <td>0.034</td> <td>0.043</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質(mg/m³)</td> <td>0.001</td> <td>0.098</td> <td>0.099</td> <td>水銀($\mu\text{g/m}^3$)</td> <td>0.003</td> <td>0.004</td> <td>0.007</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 最大付加濃度出現距離は煙突より約530mの位置である。</p> <p>・接地逆転層非貫通時</p> <p>1時間値の最大値は、煙突の風下約8.5kmの位置に出現し、二酸化硫黄が0.014ppm、二酸化窒素が0.051ppm、浮遊粒子状物質が0.099mg/m^3、塩化水素が0.005ppm、ダイオキシン類が0.047pg-TEQ/m^3、水銀が$0.008\mu\text{g/m}^3$と予測される。</p> <p><予測結果(煙突排ガスの排出に伴う大気質：1時間値)(接地逆転層非貫通時)></p> <table border="1" data-bbox="578 1801 1558 1942"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">1時間値</th> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">1時間値</th> </tr> <tr> <th>付加濃度</th> <th>バックグランド濃度</th> <th>将来濃度</th> <th>付加濃度</th> <th>バックグランド濃度</th> <th>将来濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化硫黄(ppm)</td> <td>0.003</td> <td>0.011</td> <td>0.014</td> <td>塩化水素(ppm)</td> <td>0.004</td> <td>0.001</td> <td>0.005</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素(ppm)</td> <td>0.005</td> <td>0.046</td> <td>0.051</td> <td>ダイオキシン類(pg-TEQ/m³)</td> <td>0.013</td> <td>0.034</td> <td>0.047</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質(mg/m³)</td> <td>0.001</td> <td>0.098</td> <td>0.099</td> <td>水銀($\mu\text{g/m}^3$)</td> <td>0.004</td> <td>0.004</td> <td>0.008</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 最大付加濃度出現距離は煙突より約8.5kmの位置である。</p>	項目	1時間値			項目	1時間値			付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度	二酸化硫黄(ppm)	0.001	0.011	0.012	塩化水素(ppm)	0.002	0.001	0.003	二酸化窒素(ppm)	0.003	0.046	0.049	ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.007	0.034	0.041	浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.001	0.098	0.099	水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.002	0.004	0.006	項目	1時間値			項目	1時間値			付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度	二酸化硫黄(ppm)	0.010	0.011	0.021	塩化水素(ppm)	0.014	0.001	0.015	二酸化窒素(ppm)	0.016	0.046	0.062	ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.048	0.034	0.082	浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.005	0.098	0.103	水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.014	0.004	0.018	項目	1時間値			項目	1時間値			付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度	二酸化硫黄(ppm)	0.009	0.011	0.020	塩化水素(ppm)	0.013	0.001	0.014	二酸化窒素(ppm)	0.014	0.046	0.060	ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.042	0.034	0.076	浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.004	0.098	0.102	水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.013	0.004	0.017	項目	1時間値			項目	1時間値			付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度	二酸化硫黄(ppm)	0.003	0.011	0.014	塩化水素(ppm)	0.004	0.001	0.005	二酸化窒素(ppm)	0.004	0.046	0.050	ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.012	0.034	0.046	浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.001	0.098	0.099	水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.004	0.004	0.008	項目	1時間値			項目	1時間値			付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度	二酸化硫黄(ppm)	0.002	0.011	0.013	塩化水素(ppm)	0.003	0.001	0.004	二酸化窒素(ppm)	0.003	0.046	0.049	ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.009	0.034	0.043	浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.001	0.098	0.099	水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.003	0.004	0.007	項目	1時間値			項目	1時間値			付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度	二酸化硫黄(ppm)	0.003	0.011	0.014	塩化水素(ppm)	0.004	0.001	0.005	二酸化窒素(ppm)	0.005	0.046	0.051	ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.013	0.034	0.047	浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.001	0.098	0.099	水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.004	0.004	0.008		<p>【1時間値】(※予測結果表の付加濃度の数値は、予測地域における最大値を示す。)</p> <p>施設の稼働に伴う大気質の1時間値は、以下に示すとおり生活環境保全上の目標値を満足することから、生活環境保全上の目標との整合は図られているものと評価する。</p> <p><影響分析の結果(煙突排ガスの排出に伴う大気質：1時間値)></p> <p>(一般的な気象条件時(大気安定度不安定時))</p> <table border="1" data-bbox="1973 331 2686 535"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">1時間値</th> <th rowspan="2">環境保全目標値</th> </tr> <tr> <th>付加濃度</th> <th>バックグランド濃度</th> <th>将来濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化硫黄(ppm)</td> <td>0.001</td> <td>0.011</td> <td>0.012</td> <td>0.1 以下</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素(ppm)</td> <td>0.003</td> <td>0.046</td> <td>0.049</td> <td>0.1~0.2 以下</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質(mg/m³)</td> <td>0.001</td> <td>0.098</td> <td>0.099</td> <td>0.20 以下</td> </tr> <tr> <td>塩化水素(ppm)</td> <td>0.002</td> <td>0.001</td> <td>0.003</td> <td>0.02 以下</td> </tr> <tr> <td>ダイオキシン類(pg-TEQ/m³)</td> <td>0.007</td> <td>0.034</td> <td>0.041</td> <td>0.6 以下</td> </tr> <tr> <td>水銀($\mu\text{g/m}^3$)</td> <td>0.002</td> <td>0.004</td> <td>0.006</td> <td>0.04 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(上層逆転層発生時)</p> <table border="1" data-bbox="1973 567 2686 787"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">1時間値</th> <th rowspan="2">環境保全目標値</th> </tr> <tr> <th>付加濃度</th> <th>バックグランド濃度</th> <th>将来濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化硫黄(ppm)</td> <td>0.010</td> <td>0.011</td> <td>0.021</td> <td>0.1 以下</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素(ppm)</td> <td>0.016</td> <td>0.046</td> <td>0.062</td> <td>0.1~0.2 以下</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質(mg/m³)</td> <td>0.005</td> <td>0.098</td> <td>0.103</td> <td>0.20 以下</td> </tr> <tr> <td>塩化水素(ppm)</td> <td>0.014</td> <td>0.001</td> <td>0.015</td> <td>0.02 以下</td> </tr> <tr> <td>ダイオキシン類(pg-TEQ/m³)</td> <td>0.048</td> <td>0.034</td> <td>0.082</td> <td>0.6 以下</td> </tr> <tr> <td>水銀($\mu\text{g/m}^3$)</td> <td>0.014</td> <td>0.004</td> <td>0.018</td> <td>0.04 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(接地逆転層崩壊時(フュミゲーション発生時))</p> <table border="1" data-bbox="1973 819 2686 1039"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">1時間値</th> <th rowspan="2">環境保全目標値</th> </tr> <tr> <th>付加濃度</th> <th>バックグランド濃度</th> <th>将来濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化硫黄(ppm)</td> <td>0.009</td> <td>0.011</td> <td>0.020</td> <td>0.1 以下</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素(ppm)</td> <td>0.014</td> <td>0.046</td> <td>0.060</td> <td>0.1~0.2 以下</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質(mg/m³)</td> <td>0.004</td> <td>0.098</td> <td>0.102</td> <td>0.20 以下</td> </tr> <tr> <td>塩化水素(ppm)</td> <td>0.013</td> <td>0.001</td> <td>0.014</td> <td>0.02 以下</td> </tr> <tr> <td>ダイオキシン類(pg-TEQ/m³)</td> <td>0.042</td> <td>0.034</td> <td>0.076</td> <td>0.6 以下</td> </tr> <tr> <td>水銀($\mu\text{g/m}^3$)</td> <td>0.013</td> <td>0.004</td> <td>0.017</td> <td>0.04 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(煙突ダウンウォッシュ発生時)</p> <table border="1" data-bbox="1973 1071 2686 1291"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">1時間値</th> <th rowspan="2">環境保全目標値</th> </tr> <tr> <th>付加濃度</th> <th>バックグランド濃度</th> <th>将来濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化硫黄(ppm)</td> <td>0.003</td> <td>0.011</td> <td>0.014</td> <td>0.1 以下</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素(ppm)</td> <td>0.004</td> <td>0.046</td> <td>0.050</td> <td>0.1~0.2 以下</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質(mg/m³)</td> <td>0.001</td> <td>0.098</td> <td>0.099</td> <td>0.20 以下</td> </tr> <tr> <td>塩化水素(ppm)</td> <td>0.004</td> <td>0.001</td> <td>0.005</td> <td>0.02 以下</td> </tr> <tr> <td>ダイオキシン類(pg-TEQ/m³)</td> <td>0.012</td> <td>0.034</td> <td>0.046</td> <td>0.6 以下</td> </tr> <tr> <td>水銀($\mu\text{g/m}^3$)</td> <td>0.004</td> <td>0.004</td> <td>0.008</td> <td>0.04 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(建物ダウンドラフト発生時)</p> <table border="1" data-bbox="1973 1323 2686 1543"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">1時間値</th> <th rowspan="2">環境保全目標値</th> </tr> <tr> <th>付加濃度</th> <th>バックグランド濃度</th> <th>将来濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化硫黄(ppm)</td> <td>0.002</td> <td>0.011</td> <td>0.013</td> <td>0.1 以下</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素(ppm)</td> <td>0.003</td> <td>0.046</td> <td>0.049</td> <td>0.1~0.2 以下</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質(mg/m³)</td> <td>0.001</td> <td>0.098</td> <td>0.099</td> <td>0.20 以下</td> </tr> <tr> <td>塩化水素(ppm)</td> <td>0.003</td> <td>0.001</td> <td>0.004</td> <td>0.02 以下</td> </tr> <tr> <td>ダイオキシン類(pg-TEQ/m³)</td> <td>0.009</td> <td>0.034</td> <td>0.043</td> <td>0.6 以下</td> </tr> <tr> <td>水銀($\mu\text{g/m}^3$)</td> <td>0.003</td> <td>0.004</td> <td>0.007</td> <td>0.04 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(接地逆転層非貫通時)</p> <table border="1" data-bbox="1973 1575 2686 1795"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">1時間値</th> <th rowspan="2">環境保全目標値</th> </tr> <tr> <th>付加濃度</th> <th>バックグランド濃度</th> <th>将来濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化硫黄(ppm)</td> <td>0.003</td> <td>0.011</td> <td>0.014</td> <td>0.1 以下</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素(ppm)</td> <td>0.005</td> <td>0.046</td> <td>0.051</td> <td>0.1~0.2 以下</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質(mg/m³)</td> <td>0.001</td> <td>0.098</td> <td>0.099</td> <td>0.20 以下</td> </tr> <tr> <td>塩化水素(ppm)</td> <td>0.004</td> <td>0.001</td> <td>0.005</td> <td>0.02 以下</td> </tr> <tr> <td>ダイオキシン類(pg-TEQ/m³)</td> <td>0.013</td> <td>0.034</td> <td>0.047</td> <td>0.6 以下</td> </tr> <tr> <td>水銀($\mu\text{g/m}^3$)</td> <td>0.004</td> <td>0.004</td> <td>0.008</td> <td>0.04 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>■影響の回避又は低減に係る分析結果</p> <p>煙突排ガスの排出に伴う大気質の影響を回避又は低減するため、事業計画に想定している環境保全措置を実施することとしているが、さらに影響を低減するため、以下に示す追加的な環境保全措置を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼却炉内の適切な燃焼管理を行うことにより、排ガス量と大気汚染物質の発生を抑制する。 ・排ガス濃度や運転管理状況を常時監視し、適切に情報提供を行う。 <p>以上のことから、煙突排ガスの排出に伴う大気質への影響は、実行可能な範囲内で回避又は低減されているものと評価する。</p>	項目	1時間値			環境保全目標値	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度	二酸化硫黄(ppm)	0.001	0.011	0.012	0.1 以下	二酸化窒素(ppm)	0.003	0.046	0.049	0.1~0.2 以下	浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.001	0.098	0.099	0.20 以下	塩化水素(ppm)	0.002	0.001	0.003	0.02 以下	ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.007	0.034	0.041	0.6 以下	水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.002	0.004	0.006	0.04 以下	項目	1時間値			環境保全目標値	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度	二酸化硫黄(ppm)	0.010	0.011	0.021	0.1 以下	二酸化窒素(ppm)	0.016	0.046	0.062	0.1~0.2 以下	浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.005	0.098	0.103	0.20 以下	塩化水素(ppm)	0.014	0.001	0.015	0.02 以下	ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.048	0.034	0.082	0.6 以下	水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.014	0.004	0.018	0.04 以下	項目	1時間値			環境保全目標値	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度	二酸化硫黄(ppm)	0.009	0.011	0.020	0.1 以下	二酸化窒素(ppm)	0.014	0.046	0.060	0.1~0.2 以下	浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.004	0.098	0.102	0.20 以下	塩化水素(ppm)	0.013	0.001	0.014	0.02 以下	ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.042	0.034	0.076	0.6 以下	水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.013	0.004	0.017	0.04 以下	項目	1時間値			環境保全目標値	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度	二酸化硫黄(ppm)	0.003	0.011	0.014	0.1 以下	二酸化窒素(ppm)	0.004	0.046	0.050	0.1~0.2 以下	浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.001	0.098	0.099	0.20 以下	塩化水素(ppm)	0.004	0.001	0.005	0.02 以下	ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.012	0.034	0.046	0.6 以下	水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.004	0.004	0.008	0.04 以下	項目	1時間値			環境保全目標値	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度	二酸化硫黄(ppm)	0.002	0.011	0.013	0.1 以下	二酸化窒素(ppm)	0.003	0.046	0.049	0.1~0.2 以下	浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.001	0.098	0.099	0.20 以下	塩化水素(ppm)	0.003	0.001	0.004	0.02 以下	ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.009	0.034	0.043	0.6 以下	水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.003	0.004	0.007	0.04 以下	項目	1時間値			環境保全目標値	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度	二酸化硫黄(ppm)	0.003	0.011	0.014	0.1 以下	二酸化窒素(ppm)	0.005	0.046	0.051	0.1~0.2 以下	浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.001	0.098	0.099	0.20 以下	塩化水素(ppm)	0.004	0.001	0.005	0.02 以下	ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.013	0.034	0.047	0.6 以下	水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.004	0.004	0.008	0.04 以下
項目	1時間値			項目	1時間値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度		付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
二酸化硫黄(ppm)	0.001	0.011	0.012	塩化水素(ppm)	0.002	0.001	0.003																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
二酸化窒素(ppm)	0.003	0.046	0.049	ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.007	0.034	0.041																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.001	0.098	0.099	水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.002	0.004	0.006																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
項目	1時間値			項目	1時間値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度		付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
二酸化硫黄(ppm)	0.010	0.011	0.021	塩化水素(ppm)	0.014	0.001	0.015																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
二酸化窒素(ppm)	0.016	0.046	0.062	ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.048	0.034	0.082																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.005	0.098	0.103	水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.014	0.004	0.018																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
項目	1時間値			項目	1時間値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度		付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
二酸化硫黄(ppm)	0.009	0.011	0.020	塩化水素(ppm)	0.013	0.001	0.014																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
二酸化窒素(ppm)	0.014	0.046	0.060	ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.042	0.034	0.076																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.004	0.098	0.102	水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.013	0.004	0.017																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
項目	1時間値			項目	1時間値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度		付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
二酸化硫黄(ppm)	0.003	0.011	0.014	塩化水素(ppm)	0.004	0.001	0.005																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
二酸化窒素(ppm)	0.004	0.046	0.050	ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.012	0.034	0.046																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.001	0.098	0.099	水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.004	0.004	0.008																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
項目	1時間値			項目	1時間値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度		付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
二酸化硫黄(ppm)	0.002	0.011	0.013	塩化水素(ppm)	0.003	0.001	0.004																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
二酸化窒素(ppm)	0.003	0.046	0.049	ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.009	0.034	0.043																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.001	0.098	0.099	水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.003	0.004	0.007																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
項目	1時間値			項目	1時間値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度		付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
二酸化硫黄(ppm)	0.003	0.011	0.014	塩化水素(ppm)	0.004	0.001	0.005																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
二酸化窒素(ppm)	0.005	0.046	0.051	ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.013	0.034	0.047																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.001	0.098	0.099	水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.004	0.004	0.008																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
項目	1時間値			環境保全目標値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
二酸化硫黄(ppm)	0.001	0.011	0.012	0.1 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
二酸化窒素(ppm)	0.003	0.046	0.049	0.1~0.2 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.001	0.098	0.099	0.20 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
塩化水素(ppm)	0.002	0.001	0.003	0.02 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.007	0.034	0.041	0.6 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.002	0.004	0.006	0.04 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
項目	1時間値			環境保全目標値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
二酸化硫黄(ppm)	0.010	0.011	0.021	0.1 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
二酸化窒素(ppm)	0.016	0.046	0.062	0.1~0.2 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.005	0.098	0.103	0.20 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
塩化水素(ppm)	0.014	0.001	0.015	0.02 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.048	0.034	0.082	0.6 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.014	0.004	0.018	0.04 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
項目	1時間値			環境保全目標値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
二酸化硫黄(ppm)	0.009	0.011	0.020	0.1 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
二酸化窒素(ppm)	0.014	0.046	0.060	0.1~0.2 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.004	0.098	0.102	0.20 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
塩化水素(ppm)	0.013	0.001	0.014	0.02 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.042	0.034	0.076	0.6 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.013	0.004	0.017	0.04 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
項目	1時間値			環境保全目標値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
二酸化硫黄(ppm)	0.003	0.011	0.014	0.1 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
二酸化窒素(ppm)	0.004	0.046	0.050	0.1~0.2 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.001	0.098	0.099	0.20 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
塩化水素(ppm)	0.004	0.001	0.005	0.02 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.012	0.034	0.046	0.6 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.004	0.004	0.008	0.04 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
項目	1時間値			環境保全目標値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
二酸化硫黄(ppm)	0.002	0.011	0.013	0.1 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
二酸化窒素(ppm)	0.003	0.046	0.049	0.1~0.2 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.001	0.098	0.099	0.20 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
塩化水素(ppm)	0.003	0.001	0.004	0.02 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.009	0.034	0.043	0.6 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.003	0.004	0.007	0.04 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
項目	1時間値			環境保全目標値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	付加濃度	バックグランド濃度	将来濃度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
二酸化硫黄(ppm)	0.003	0.011	0.014	0.1 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
二酸化窒素(ppm)	0.005	0.046	0.051	0.1~0.2 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	0.001	0.098	0.099	0.20 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
塩化水素(ppm)	0.004	0.001	0.005	0.02 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
ダイオキシン類(pg-TEQ/m ³)	0.013	0.034	0.047	0.6 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
水銀($\mu\text{g/m}^3$)	0.004	0.004	0.008	0.04 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

表 4-4 現況調査、予測、影響分析の概要

項目	現況調査	予測	環境保全措置	影響の分析																																																																																																				
<p>1. 大気質(続き)</p> <p>廃棄物運搬車両の走行に伴う大気質</p>	<p>■大気質</p> <p>調査期間中の各地点における二酸化窒素の平均値は0.015～0.018ppmであった。各地点の日平均値の最高値は0.019～0.023ppm、1時間値の最高値は0.039～0.049ppmであり、各地点ともに環境基準値を満足していた。</p> <p>調査期間中の各地点における浮遊粒子状物質の平均値は0.017～0.018mg/m³であった。各地点の日平均値の最高値は0.025～0.028mg/m³、1時間値の最高値は0.052～0.063mg/m³であり、各地点ともに環境基準値を満足していた。</p> <p>■交通量</p> <p>明石市道大久保147号線の断面交通量(車両合計)は4,461台(大型車混入率6.2%)であった。</p> <p>明石市道大久保18号線の断面交通量(車両合計)は9,999台(大型車混入率7.2%)であった。</p> <p>神戸市道上新地南古線の断面交通量(車両合計)は6,281台(大型車混入率10.7%)であった。</p>	<p>予測の結果、基礎交通量と付加交通量(廃棄物運搬車両)の走行に伴う付加濃度はわずかであり、バックグラウンド濃度を含めた年平均値は、最大で二酸化窒素が0.011ppm、浮遊粒子状物質が0.018mg/m³との値と予測される。</p> <p><予測結果(廃棄物運搬車両の走行に伴う大気質)></p> <p>[二酸化窒素] 単位: ppm</p> <table border="1" data-bbox="928 394 1599 638"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">付加濃度</th> <th rowspan="2">バックグラウンド濃度 (2019年一般環境調査結果)</th> <th rowspan="2">予測結果 (年平均値)</th> </tr> <tr> <th>基礎交通量</th> <th>付加交通量 (廃棄物運搬車両)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>明石市道 大久保147号線</td> <td>0.000140</td> <td>0.000016</td> <td>0.010</td> <td>0.010</td> </tr> <tr> <td>明石市道 大久保18号線</td> <td>0.000642</td> <td>0.000124</td> <td>0.010</td> <td>0.011</td> </tr> <tr> <td>神戸市道 上新地南古線</td> <td>0.000312</td> <td>0.000039</td> <td>0.010</td> <td>0.010</td> </tr> </tbody> </table> <p>[浮遊粒子状物質] 単位: mg/m³</p> <table border="1" data-bbox="928 697 1599 940"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">付加濃度</th> <th rowspan="2">バックグラウンド濃度 (2019年一般環境調査結果)</th> <th rowspan="2">予測結果 (年平均値)</th> </tr> <tr> <th>基礎交通量</th> <th>付加交通量 (廃棄物運搬車両)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>明石市道 大久保147号線</td> <td>0.000013</td> <td>0.000003</td> <td>0.018</td> <td>0.018</td> </tr> <tr> <td>明石市道 大久保18号線</td> <td>0.000048</td> <td>0.000014</td> <td>0.018</td> <td>0.018</td> </tr> <tr> <td>神戸市道 上新地南古線</td> <td>0.000027</td> <td>0.000006</td> <td>0.018</td> <td>0.018</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 付加濃度の予測に使用した交通量はそれぞれ以下を示す。 基礎交通量: 2024年(令和6年)5月の交通量調査結果からごみ収集車台数を除いた交通量 付加交通量: 以下の①～③の合計台数 ①2024年(令和6年)5月の現況交通量(ごみ収集車のみ) ②2023年度(令和5年度)における廃棄物運搬車両台数の日平均値及び2023年(令和5年)5月(現況調査と同時期)における廃棄物運搬車両台数の日平均値の差分の台数 ③プラスチック分別収集の将来的な実施に伴う廃棄物運搬車両台数の増加を踏まえた付加台数</p>	予測地点	付加濃度		バックグラウンド濃度 (2019年一般環境調査結果)	予測結果 (年平均値)	基礎交通量	付加交通量 (廃棄物運搬車両)	明石市道 大久保147号線	0.000140	0.000016	0.010	0.010	明石市道 大久保18号線	0.000642	0.000124	0.010	0.011	神戸市道 上新地南古線	0.000312	0.000039	0.010	0.010	予測地点	付加濃度		バックグラウンド濃度 (2019年一般環境調査結果)	予測結果 (年平均値)	基礎交通量	付加交通量 (廃棄物運搬車両)	明石市道 大久保147号線	0.000013	0.000003	0.018	0.018	明石市道 大久保18号線	0.000048	0.000014	0.018	0.018	神戸市道 上新地南古線	0.000027	0.000006	0.018	0.018	<p>■事業計画実施することとしている環境保全措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両の維持管理を徹底し、車両から発生する排ガスの抑制を図る。 <p>■影響低減のために検討した環境保全措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排ガス性能に優れた車両を導入し、車両から発生する排ガスの抑制を図る。 ・収集運搬車両の積載量や、走行速度等の交通法規を遵守し、エコドライブの推進や空ぶかしを行わない等、運搬事業者への指導を徹底する。 	<p>■生活環境保全上の目標の設定</p> <p>「環境基本法」第16条第1項の規定に基づき、大気の汚染に係る環境上の条件について、生活環境を保全し、人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準として「大気の汚染に係る環境基準について」及び「二酸化窒素に係る環境基準について」が定められていることから、これを生活環境保全上の目標とした。</p> <p>■生活環境保全上の目標との整合性</p> <p>廃棄物運搬車両の走行に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の年平均値の予測結果を日平均値の年間98%値又は年間2%除外値に変換した値は、二酸化窒素が0.023～0.024ppm、浮遊粒子状物質が0.045mg/m³であり、生活環境保全上の目標値を満足することから、生活環境保全上の目標との整合は図られているものと評価する。</p> <p><影響分析の結果(廃棄物運搬車両の走行に伴う大気質)></p> <p>[二酸化窒素] 単位: ppm</p> <table border="1" data-bbox="1967 617 2798 861"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">付加濃度</th> <th rowspan="2">バックグラウンド濃度 (2019年一般環境調査結果)</th> <th rowspan="2">予測結果 (年平均値)</th> <th rowspan="2">日平均値の 年間98%値</th> <th rowspan="2">環境保全 目標値</th> </tr> <tr> <th>基礎交通量</th> <th>付加交通量 (廃棄物運搬車両)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>明石市道 大久保147号線</td> <td>0.000140</td> <td>0.000016</td> <td>0.010</td> <td>0.010</td> <td>0.023</td> <td rowspan="3">0.04～ 0.06の ゾーン内 又は それ以下</td> </tr> <tr> <td>明石市道 大久保18号線</td> <td>0.000642</td> <td>0.000124</td> <td>0.010</td> <td>0.011</td> <td>0.024</td> </tr> <tr> <td>神戸市道 上新地南古線</td> <td>0.000312</td> <td>0.000039</td> <td>0.010</td> <td>0.010</td> <td>0.023</td> </tr> </tbody> </table> <p>[浮遊粒子状物質] 単位: mg/m³</p> <table border="1" data-bbox="1967 919 2798 1163"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">付加濃度</th> <th rowspan="2">バックグラウンド濃度 (2019年一般環境調査結果)</th> <th rowspan="2">予測結果 (年平均値)</th> <th rowspan="2">日平均値の 年間2%除外値</th> <th rowspan="2">環境保全 目標値</th> </tr> <tr> <th>基礎交通量</th> <th>付加交通量 (廃棄物運搬車両)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>明石市道 大久保147号線</td> <td>0.000013</td> <td>0.000003</td> <td>0.018</td> <td>0.018</td> <td>0.045</td> <td rowspan="3">0.10 以下</td> </tr> <tr> <td>明石市道 大久保18号線</td> <td>0.000048</td> <td>0.000014</td> <td>0.018</td> <td>0.018</td> <td>0.045</td> </tr> <tr> <td>神戸市道 上新地南古線</td> <td>0.000027</td> <td>0.000006</td> <td>0.018</td> <td>0.018</td> <td>0.045</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 付加濃度の予測に使用した交通量はそれぞれ以下を示す。 基礎交通量: 2024年(令和6年)5月の交通量調査結果からごみ収集車台数を除いた交通量 付加交通量: 以下の①～③の合計台数 ①2024年(令和6年)5月の現況交通量(ごみ収集車のみ) ②2023年度(令和5年度)における廃棄物運搬車両台数の日平均値及び2023年(令和5年)5月(現況調査と同時期)における廃棄物運搬車両台数の日平均値の差分の台数 ③プラスチック分別収集の将来的な実施に伴う廃棄物運搬車両台数の増加を踏まえた付加台数</p> <p>■影響の回避又は低減に係る分析結果</p> <p>廃棄物運搬車両の走行に伴う大気質への影響を回避又は低減するため、事業計画に想定している環境保全措置を実施することとしているが、さらに影響を低減するため、以下に示す追加的な環境保全措置を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排ガス性能に優れた車両を導入し、車両から発生する排ガスの抑制を図る。 ・収集運搬車両の積載量や、走行速度等の交通法規を遵守し、エコドライブの推進や空ぶかしを行わない等、運搬事業者への指導を徹底する。 <p>以上のことから、廃棄物運搬車両の走行に伴う大気質への影響は、実行可能な範囲内で回避又は低減されているものと評価する。</p>	予測地点	付加濃度		バックグラウンド濃度 (2019年一般環境調査結果)	予測結果 (年平均値)	日平均値の 年間98%値	環境保全 目標値	基礎交通量	付加交通量 (廃棄物運搬車両)	明石市道 大久保147号線	0.000140	0.000016	0.010	0.010	0.023	0.04～ 0.06の ゾーン内 又は それ以下	明石市道 大久保18号線	0.000642	0.000124	0.010	0.011	0.024	神戸市道 上新地南古線	0.000312	0.000039	0.010	0.010	0.023	予測地点	付加濃度		バックグラウンド濃度 (2019年一般環境調査結果)	予測結果 (年平均値)	日平均値の 年間2%除外値	環境保全 目標値	基礎交通量	付加交通量 (廃棄物運搬車両)	明石市道 大久保147号線	0.000013	0.000003	0.018	0.018	0.045	0.10 以下	明石市道 大久保18号線	0.000048	0.000014	0.018	0.018	0.045	神戸市道 上新地南古線	0.000027	0.000006	0.018	0.018	0.045
予測地点	付加濃度			バックグラウンド濃度 (2019年一般環境調査結果)	予測結果 (年平均値)																																																																																																			
	基礎交通量	付加交通量 (廃棄物運搬車両)																																																																																																						
明石市道 大久保147号線	0.000140	0.000016	0.010	0.010																																																																																																				
明石市道 大久保18号線	0.000642	0.000124	0.010	0.011																																																																																																				
神戸市道 上新地南古線	0.000312	0.000039	0.010	0.010																																																																																																				
予測地点	付加濃度		バックグラウンド濃度 (2019年一般環境調査結果)	予測結果 (年平均値)																																																																																																				
	基礎交通量	付加交通量 (廃棄物運搬車両)																																																																																																						
明石市道 大久保147号線	0.000013	0.000003	0.018	0.018																																																																																																				
明石市道 大久保18号線	0.000048	0.000014	0.018	0.018																																																																																																				
神戸市道 上新地南古線	0.000027	0.000006	0.018	0.018																																																																																																				
予測地点	付加濃度		バックグラウンド濃度 (2019年一般環境調査結果)	予測結果 (年平均値)	日平均値の 年間98%値	環境保全 目標値																																																																																																		
	基礎交通量	付加交通量 (廃棄物運搬車両)																																																																																																						
明石市道 大久保147号線	0.000140	0.000016	0.010	0.010	0.023	0.04～ 0.06の ゾーン内 又は それ以下																																																																																																		
明石市道 大久保18号線	0.000642	0.000124	0.010	0.011	0.024																																																																																																			
神戸市道 上新地南古線	0.000312	0.000039	0.010	0.010	0.023																																																																																																			
予測地点	付加濃度		バックグラウンド濃度 (2019年一般環境調査結果)	予測結果 (年平均値)	日平均値の 年間2%除外値	環境保全 目標値																																																																																																		
	基礎交通量	付加交通量 (廃棄物運搬車両)																																																																																																						
明石市道 大久保147号線	0.000013	0.000003	0.018	0.018	0.045	0.10 以下																																																																																																		
明石市道 大久保18号線	0.000048	0.000014	0.018	0.018	0.045																																																																																																			
神戸市道 上新地南古線	0.000027	0.000006	0.018	0.018	0.045																																																																																																			

表 4-5 現況調査、予測、影響分析の概要

項目	現況調査	予測	環境保全措置	影響の分析																																		
1. 大気質 (続き) 資源リサイクル施設の稼働に伴う粉じん	<p>■気象 【地上気象】 調査期間を通しての風速の期間平均は3.1m/s、日平均値の最高値は7.5m/s、日射量の期間平均は0.17kW/m²、放射収支量の期間平均は0.093kW/m²であった。 冬季・春季・秋季は北、夏季は南東の風向が卓越する結果であった。調査期間を通して北の風向が卓越する結果であった。</p> <p>■粉じん 調査期間を通じての各地点の粉じんの平均値は0.015～0.017mg/m³であった。</p>	<p>既存の破碎選別施設稼働時の現況調査結果及び本事業で実施する粉じん対策等の計画を踏まえて、影響の程度を定性的に予測した。</p> <p>既存の破碎選別施設稼働時の粉じんの調査期間平均値は、敷地境界北西側で0.017mg/m³、事業計画地周辺の3地点で0.015～0.017mg/m³であり、敷地境界及びその周辺において概ね同程度の値となっていることから、破碎選別施設の稼働による影響は生じていないと考えられる。</p> <p>また、今後整備する資源リサイクル施設には、現施設と同様に建物で囲われた構造とする計画であり、破碎選別の過程で生じた粉じんが、直接大気中に飛散することはない。さらに、発生した粉じんは集じん装置、バグフィルタによる除去等適切な処理を行ったうえで施設外に搬出する。</p> <p>以上より、資源リサイクル施設の稼働に伴って発生する粉じんの影響は、極めて小さいと考えられる。</p> <p><調査結果（既存の破碎選別施設の稼働に伴う粉じん）> 単位：mg/m³</p> <table border="1" data-bbox="934 724 1546 966"> <thead> <tr> <th rowspan="2">時期</th> <th colspan="4">測定地点</th> </tr> <tr> <th>敷地境界北西側</th> <th>高丘サザンカ公園</th> <th>サッカー・野球練習場(神戸市水道局)</th> <th>印路自治会館</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冬季</td> <td>0.014</td> <td>0.014</td> <td>0.003</td> <td>0.014</td> </tr> <tr> <td>春季</td> <td>0.028</td> <td>0.027</td> <td>0.029</td> <td>0.028</td> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>0.019</td> <td>0.013</td> <td>0.014</td> <td>0.016</td> </tr> <tr> <td>秋季</td> <td>0.007</td> <td>0.009</td> <td>0.012</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td>年間</td> <td>0.017</td> <td>0.016</td> <td>0.015</td> <td>0.017</td> </tr> </tbody> </table>	時期	測定地点				敷地境界北西側	高丘サザンカ公園	サッカー・野球練習場(神戸市水道局)	印路自治会館	冬季	0.014	0.014	0.003	0.014	春季	0.028	0.027	0.029	0.028	夏季	0.019	0.013	0.014	0.016	秋季	0.007	0.009	0.012	0.009	年間	0.017	0.016	0.015	0.017	<p>■事業計画で実施することとしている環境保全措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内で発生した粉じんは、集じんダクトで吸引を行い、集じん装置、バグフィルタにより除去したうえで、施設外へ排出する。 <p>■影響低減のために検討した環境保全措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内での散水の実施による粉じん発生の低減を図る。 ・機器カバーによる粉じん飛散の低減を図る。 	<p>■影響の回避又は低減に係る分析結果</p> <p>資源リサイクル施設の稼働に伴う粉じん等の影響を回避又は低減するため、事業計画で想定している環境保全措置を実施することとしているが、さらに影響を低減するため、以下に示す追加的な環境保全措置を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内での散水の実施による粉じん発生の低減を図る。 ・機器カバーによる粉じん飛散の低減を図る。 <p>以上のことから、資源リサイクル施設の稼働による粉じんの影響は、実行可能な範囲内で回避又は低減されているものと評価する。</p>
時期	測定地点																																					
	敷地境界北西側	高丘サザンカ公園	サッカー・野球練習場(神戸市水道局)	印路自治会館																																		
冬季	0.014	0.014	0.003	0.014																																		
春季	0.028	0.027	0.029	0.028																																		
夏季	0.019	0.013	0.014	0.016																																		
秋季	0.007	0.009	0.012	0.009																																		
年間	0.017	0.016	0.015	0.017																																		

表 4-6 現況調査、予測、影響分析の概要

項目	現況調査	予測	環境保全措置	影響の分析																																																																																		
<p>2. 騒音 施設の稼働に伴う騒音</p>	<p>■工場騒音・環境騒音 明石クリーンセンター敷地境界3地点における現有施設の工場騒音（5%時間率騒音レベル（L_{A5}））は、朝45dB、昼間45～51dB、夕40～42dB、夜間40dBとなり、全ての地点において現有施設の自主基準値を満足していた。 サッカー・野球練習場（神戸市水道局）における環境騒音（等価騒音レベル（L_{Aeq}））は、昼間49dB、夜間45dBとなり環境基準値を満足していた。</p>	<p>敷地境界における騒音レベル（L_{A5}）は、昼間は北西側敷地境界で28dB、南東側敷地境界で39dB、南西側敷地境界で35dBであり、敷地境界上の最大値は41dBと予測される。朝・夕・夜間は北西側敷地境界で24dB、南東側敷地境界で34dB、南西側敷地境界で33dBであり、敷地境界上の最大値は38dBと予測される。 また、サッカー・野球練習場（神戸市水道局）における騒音レベル（L_{A5}）は、昼間26dB、夜間22dBと予測され、この値を等価騒音レベル（L_{Aeq}）とみなして現況測定結果と合成した値は昼間49dB、夜間45dBであった。</p> <p><予測結果（施設の稼働に伴う騒音：敷地境界）> 単位：dB</p> <table border="1" data-bbox="857 537 1279 877"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>位置</th> <th>騒音レベル（L_{A5}）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">昼間</td> <td>敷地境界 北西側</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>南東側</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>南西側</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>最大値</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">朝・夕・夜間</td> <td>敷地境界 北西側</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>南東側</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>南西側</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>最大値</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table> <p>注）朝：6時～8時、昼間：8時～19時、夕：19時～23時、夜間：23時～翌6時</p> <p><予測結果（施設の稼働に伴う騒音：周辺地域）> 単位：dB</p> <table border="1" data-bbox="777 1016 1362 1186"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>区分</th> <th>予測結果^{注2}（L_{A5}）</th> <th>現況値（L_{Aeq}）</th> <th>予測結果^{注3}（L_{Aeq}）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">サッカー・野球練習場（神戸市水道局）</td> <td>昼間</td> <td>26</td> <td>49</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>22</td> <td>45</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1）昼間：6時～22時、夜間：22時～翌6時 注2）施設からの騒音寄与レベルを示す。 注3）予測結果は、施設の稼働による寄与分（L_{A5}）を安全側で等価騒音レベル（L_{Aeq}）として扱い、現況調査結果（L_{Aeq}）と合成した値である。</p>	時間	位置	騒音レベル（ L_{A5} ）	昼間	敷地境界 北西側	28	南東側	39	南西側	35	最大値	41	朝・夕・夜間	敷地境界 北西側	24	南東側	24	南西側	34	最大値	38	予測地点	区分	予測結果 ^{注2} （ L_{A5} ）	現況値（ L_{Aeq} ）	予測結果 ^{注3} （ L_{Aeq} ）	サッカー・野球練習場（神戸市水道局）	昼間	26	49	49	夜間	22	45	45	<p>■事業計画上実施することとしている環境保全措置 ・騒音が特に大きな機器類については、設置場所の区画化や吸音材の使用等、必要な対策を実施する。</p> <p>■影響低減のために検討した環境保全措置 ・定期的に設備機器等の点検を行い、異常の確認された機器類は修理・交換を行うなど、維持管理を適切に行う。</p> <p>・本調査ではプラントメーカー等の資料を参考に現段階で想定しうる建物の形状や設備の配置を考慮して予測を実施したが、今後具体的な施設及び設備の計画に当たっては、生活環境保全上の目標値を遵守するために必要な騒音対策を改めて検討する。</p>	<p>■生活環境保全上の目標の設定 敷地境界においては、「騒音規制法」に基づく「特定工場等において発生する騒音の規制に関する基準」及び「騒音に係る自主基準」を生活環境保全上の目標とした。 また、敷地境界以外遠の予測地点においては、周辺環境の保全の観点から評価を行うべく、「環境基本法」に基づく「騒音に係る環境基準について」を準用し、生活環境保全上の目標とした。</p> <p>■生活環境保全上の目標との整合性 施設の稼働に伴う騒音の予測の結果、敷地境界における騒音レベル（L_{A5}）は、昼間は北西側敷地境界で28dB、南東側敷地境界で39dB、南西側敷地境界で35dBであり、敷地境界上の最大値は41dBと予測される。朝・夕・夜間は北西側敷地境界で24dB、南東側敷地境界で34dB、南西側敷地境界で33dBであり、敷地境界上の最大値は38dBと予測される。 また、サッカー・野球練習場（神戸市水道局）における騒音レベル（L_{A5}）は、昼間26dB、夜間22dBと予測され、この値を等価騒音レベル（L_{Aeq}）とみなして現況測定結果と合成した値は昼間49dB、夜間45dBであった。 いずれも生活環境保全上の目標値を満足することから、生活環境保全上の目標との整合は図られているものと評価する。</p> <p><影響分析の結果（施設の稼働に伴う騒音：敷地境界）> 単位：dB</p> <table border="1" data-bbox="2003 787 2626 1083"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>位置</th> <th>騒音レベル（L_{A5}）</th> <th>環境保全目標値^注</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">昼間</td> <td>敷地境界 北西側</td> <td>28</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>南東側</td> <td>39</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>南西側</td> <td>35</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>最大値</td> <td>41</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">朝・夕・夜間</td> <td>敷地境界 北西側</td> <td>24</td> <td>40、45</td> </tr> <tr> <td>南東側</td> <td>34</td> <td>40、45</td> </tr> <tr> <td>南西側</td> <td>33</td> <td>40、45</td> </tr> <tr> <td>最大値</td> <td>38</td> <td>40、45</td> </tr> </tbody> </table> <p>注）騒音規制法に規定する基準値及び自主基準値を適用した。また、朝・夕・夜間については、朝及び夕は45dB、夜間は40dBを適用した。</p> <p><影響分析の結果（施設の稼働に伴う騒音）：周辺地域> 単位：dB</p> <table border="1" data-bbox="1955 1247 2674 1392"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>区分</th> <th>予測結果^{注2}（L_{A5}）</th> <th>現況値（L_{Aeq}）</th> <th>予測結果^{注3}（L_{Aeq}）</th> <th>環境保全目標値^{注4}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">サッカー・野球練習場（神戸市水道局）</td> <td>昼間</td> <td>26</td> <td>49</td> <td>49</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>22</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1）昼間：6時～22時、夜間：22時～翌6時 注2）施設からの騒音寄与レベルを示す。 注3）施設からの騒音寄与レベルを等価騒音レベル（L_{Aeq}）として扱い、予測地点における等価騒音レベル（L_{Aeq}）の現況測定結果と合成した値である。 注4）「騒音に係る環境基準」（B類型）を適用した。</p> <p>■影響の回避又は低減に係る分析結果 施設の稼働に伴う騒音への影響を回避又は低減するため、事業計画上想定している環境保全措置を実施することとしているが、さらに影響を低減するため、以下に示す追加的な環境保全措置を実施する。 ・定期的に設備機器等の点検を行い、異常の確認された機器類は修理・交換を行うなど、維持管理を適切に行う。</p> <p>・本調査ではプラントメーカー等の資料を参考に現段階で想定しうる建物の形状や設備の配置を考慮して予測を実施したが、今後具体的な施設及び設備の計画に当たっては、生活環境保全上の目標値を遵守するために必要な騒音対策を改めて検討する。</p> <p>以上のことから、施設の稼働に伴う騒音の影響は、実行可能な範囲内で回避又は低減されているものと評価する。</p>	時間	位置	騒音レベル（ L_{A5} ）	環境保全目標値 ^注	昼間	敷地境界 北西側	28	60	南東側	39	60	南西側	35	60	最大値	41	60	朝・夕・夜間	敷地境界 北西側	24	40、45	南東側	34	40、45	南西側	33	40、45	最大値	38	40、45	予測地点	区分	予測結果 ^{注2} （ L_{A5} ）	現況値（ L_{Aeq} ）	予測結果 ^{注3} （ L_{Aeq} ）	環境保全目標値 ^{注4}	サッカー・野球練習場（神戸市水道局）	昼間	26	49	49	55	夜間	22	45	45	45
時間	位置	騒音レベル（ L_{A5} ）																																																																																				
昼間	敷地境界 北西側	28																																																																																				
	南東側	39																																																																																				
	南西側	35																																																																																				
	最大値	41																																																																																				
朝・夕・夜間	敷地境界 北西側	24																																																																																				
	南東側	24																																																																																				
	南西側	34																																																																																				
	最大値	38																																																																																				
予測地点	区分	予測結果 ^{注2} （ L_{A5} ）	現況値（ L_{Aeq} ）	予測結果 ^{注3} （ L_{Aeq} ）																																																																																		
サッカー・野球練習場（神戸市水道局）	昼間	26	49	49																																																																																		
	夜間	22	45	45																																																																																		
時間	位置	騒音レベル（ L_{A5} ）	環境保全目標値 ^注																																																																																			
昼間	敷地境界 北西側	28	60																																																																																			
	南東側	39	60																																																																																			
	南西側	35	60																																																																																			
	最大値	41	60																																																																																			
朝・夕・夜間	敷地境界 北西側	24	40、45																																																																																			
	南東側	34	40、45																																																																																			
	南西側	33	40、45																																																																																			
	最大値	38	40、45																																																																																			
予測地点	区分	予測結果 ^{注2} （ L_{A5} ）	現況値（ L_{Aeq} ）	予測結果 ^{注3} （ L_{Aeq} ）	環境保全目標値 ^{注4}																																																																																	
サッカー・野球練習場（神戸市水道局）	昼間	26	49	49	55																																																																																	
	夜間	22	45	45	45																																																																																	

表 4-7 現況調査、予測、影響分析の概要

項目	現況調査	予測	環境保全措置	影響の分析																																				
<p>2. 騒音(続き)</p> <p>廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音</p>	<p>■道路交通騒音 等価騒音レベル (L_{Aeq}) は、明石市道大久保147号線では昼間61dB及び夜間54dB、明石市道大久保18号線では昼間67dB及び夜間59dB、神戸市道上新地南古線では昼間66dB及び夜間59dBとなり、全ての地点で昼間に環境基準値を超過していた。夜間は環境基準値を満足していた。なお、昼夜間ともに要請限度値を満足していた。</p> <p>■交通量 明石市道大久保147号線では、断面交通量(車両合計)は昼間が4,261台(大型車混入率6.1%)、夜間が200台(大型車混入率9.5%)であった。 明石市道大久保18号線では、断面交通量(車両合計)は昼間が9,524台(大型車混入率7.2%)、夜間が475台(大型車混入率6.7%)であった。 神戸市道上新地南古線では、断面交通量(車両合計)は昼間が5,898台(大型車混入率10.7%)、夜間が383台(大型車混入率10.4%)であった。 ※昼・夜の区分は騒音に係る環境基準における時間の区分</p> <p>■平均走行速度 明石市道大久保147号線の断面における平均走行速度は、43km/hであった。 明石市道大久保18号線の断面における平均走行速度は、44km/hであった。 神戸市道上新地南古線の断面における平均走行速度は、43km/hであった。</p>	<p>「現況交通量(2024年(令和6年)5月の交通量調査結果)から予測した騒音レベル」と「予測交通量(次の①~③の合計交通量から予測した騒音レベル:①現況交通量、②2023年(令和5年)12月の廃棄物運搬車両台数の日平均値と2023年(令和5年)5月の廃棄物運搬車両台数の日平均値の差分、③プラスチック分別収集の実施に伴う将来的な付加台数)の差分(計算上の増加レベル)は0.0~0.3dBとわずかであり、予測結果は、2024年(令和6年)5月の騒音レベルと同じ61~67dBとなった。</p> <p><予測結果(廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音)> 単位: dB</p> <table border="1" data-bbox="943 541 1534 884"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>①現況騒音レベル注1 (L_{Aeq})</th> <th>②現況交通量注2により予測した騒音レベルと予測交通量注3により予測した騒音レベルの差分(ΔL)</th> <th>予測結果 (L_{Aeq}) (①+②)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>明石市道大久保147号線</td> <td>61</td> <td>0(0.3)</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>明石市道大久保18号線</td> <td>67</td> <td>0(0.0)</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>神戸市道上新地南古線</td> <td>66</td> <td>0(0.1)</td> <td>66</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 現況騒音レベルは、2024年(令和6年)5月に実施した騒音の現況調査結果を示す。 注2) 現況交通量は、2024年(令和6年)5月に実施した交通量調査結果の台数を示す。 注3) 予測交通量は、以下の①~③の合計台数とする。 ①現況交通量 ②2023年(令和5年)12月(廃棄物運搬車両台数が最も多くなる時期)の廃棄物運搬車両台数の日平均値及び2023年(令和5年)5月(現況調査を実施した2024年(令和6年)5月と同時期)の廃棄物運搬車両台数の日平均値の差分の台数 ③プラスチック分別収集の将来的な実施に伴う廃棄物運搬車両台数の増加を踏まえた付加台数 注4) 時間区分は昼間:6時から22時。 注5) ()内の数値は、計算上の増加レベルの値を示す。</p>	予測地点	①現況騒音レベル注1 (L_{Aeq})	②現況交通量注2により予測した騒音レベルと予測交通量注3により予測した騒音レベルの差分(ΔL)	予測結果 (L_{Aeq}) (①+②)	明石市道大久保147号線	61	0(0.3)	61	明石市道大久保18号線	67	0(0.0)	67	神戸市道上新地南古線	66	0(0.1)	66	<p>■事業計画実施することとしている環境保全措置 ・車両の維持管理を徹底し、車両から発生する騒音の抑制を図る。</p> <p>■影響低減のために検討した環境保全措置 ・収集運搬車両の積載量や、走行速度等の交通法規を遵守し、エコドライブの推進や空ぶかしを行わない等、運搬事業者への指導を徹底する。</p>	<p>■生活環境保全上の目標の設定 「環境基本法」第16条第1項の規定に基づき、騒音に係る環境上の条件について、生活環境を保全し、人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準として「騒音に係る環境基準について」に基づく環境基準及び道路の周辺的生活環境が著しく損なわれると認められる場合に措置を取ることが要請できる基準として「騒音規制法」に基づく要請限度が定められていることから、これらを生活環境保全上の目標とした。 また、現況で「騒音に係る環境基準について」により定められる基準値を超過している地点については、「現況の騒音レベルを悪化させないこと」を生活環境保全上の目標とした。</p> <p>■生活環境保全上の目標との整合性 「現況交通量から予測した騒音レベル」と「予測交通量から予測した騒音レベル」の差分は0.0~0.3dBとわずかであり、予測結果は、令和6年5月の騒音レベルと同じ61~67dBとなった。 現況における影響が最大となる時期の騒音レベルは、環境基準を超過しているが、要請限度は満足していると考えられる。 予測結果は、現況で環境基準値を超過している地点の生活環境保全上の目標である「現況の騒音レベルを悪化させないこと」を満足することから、生活環境保全上の目標との整合は図られているものと評価する。</p> <p><影響分析の結果(廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音)> 単位: dB</p> <table border="1" data-bbox="2041 877 2778 1178"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>①現況騒音レベル (L_{Aeq})</th> <th>②現況交通量により予測した騒音レベルと予測交通量により予測した騒音レベルの差分 (ΔL) 注2</th> <th>予測結果 (L_{Aeq}) (①+②)</th> <th>環境保全目標値注3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>明石市道大久保147号線</td> <td>61</td> <td>0(0.3)</td> <td>61</td> <td>61(60)[70]</td> </tr> <tr> <td>明石市道大久保18号線</td> <td>67</td> <td>0(0.0)</td> <td>67</td> <td>67(65)[75]</td> </tr> <tr> <td>神戸市道上新地南古線</td> <td>66</td> <td>0(0.1)</td> <td>66</td> <td>66(65)[75]</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 時間区分は昼間:6時から22時。 注2) ()内の数値は、計算上の増加レベルの値を示す。 注3) 環境保全目標値は、「騒音に係る環境基準」及び「騒音規制法」に基づく要請限度を適用した。括弧書きのない値は2024年(令和6年)5月の騒音調査結果を、()は環境基準を、[]は要請限度を示す。</p> <p>■影響の回避又は低減に係る分析結果 廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音の影響を回避又は低減するため、事業計画に想定している環境保全措置を実施することとしているが、さらに影響を低減するため、以下に示す追加的な環境保全措置を実施する。 ・収集運搬車両の積載量や、走行速度等の交通法規を遵守し、エコドライブの推進や空ぶかしを行わない等、運搬事業者への指導を徹底する。 以上のことから、廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音の影響は、実行可能な範囲内で回避又は低減されているものと評価する。</p>	予測地点	①現況騒音レベル (L_{Aeq})	②現況交通量により予測した騒音レベルと予測交通量により予測した騒音レベルの差分 (ΔL) 注2	予測結果 (L_{Aeq}) (①+②)	環境保全目標値注3	明石市道大久保147号線	61	0(0.3)	61	61(60)[70]	明石市道大久保18号線	67	0(0.0)	67	67(65)[75]	神戸市道上新地南古線	66	0(0.1)	66	66(65)[75]
予測地点	①現況騒音レベル注1 (L_{Aeq})	②現況交通量注2により予測した騒音レベルと予測交通量注3により予測した騒音レベルの差分(ΔL)	予測結果 (L_{Aeq}) (①+②)																																					
明石市道大久保147号線	61	0(0.3)	61																																					
明石市道大久保18号線	67	0(0.0)	67																																					
神戸市道上新地南古線	66	0(0.1)	66																																					
予測地点	①現況騒音レベル (L_{Aeq})	②現況交通量により予測した騒音レベルと予測交通量により予測した騒音レベルの差分 (ΔL) 注2	予測結果 (L_{Aeq}) (①+②)	環境保全目標値注3																																				
明石市道大久保147号線	61	0(0.3)	61	61(60)[70]																																				
明石市道大久保18号線	67	0(0.0)	67	67(65)[75]																																				
神戸市道上新地南古線	66	0(0.1)	66	66(65)[75]																																				

表 4-8 現況調査、予測、影響分析の概要

項目	現況調査	予測	環境保全措置	影響の分析																																																																												
3. 施設の稼働に伴う振動	<p>■工場振動・環境振動</p> <p>明石クリーンセンター敷地境界3地点における現有施設の工場振動（10%時間率振動レベル(L₁₀)の時間区分ごとの最大値)は、昼間26～37dB、夜間25dB未満～36dBとなり、全ての地点において規制基準値を満足していた。</p> <p>サッカー・野球練習場（神戸市水道局）における環境振動（10%時間率振動レベル(L₁₀)）は、は昼間・夜間ともに25dB未満であり、いずれも振動感覚閾値（人が振動を感じ始める値：55dB）を満足していた。</p>	<p>敷地境界における振動レベル(L₁₀)は、昼間は北西側敷地境界で25dB未満、南東側敷地境界で51dB、南西側敷地境界で43dBであり、敷地境界上の最大値は55dBと予測される。夜間は北西側敷地境界で25dB未満、南東側敷地境界で51dB、南西側敷地境界で43dBであり、敷地境界上の最大値は55dBと予測される。</p> <p>また、サッカー・野球練習場（神戸市水道局）における振動レベル(L₁₀)は昼間・夜間ともに25dB未満であり、また、現況測定結果も同様に25dB未満であった。</p> <p><予測結果（施設の稼働に伴う振動：敷地境界）> 単位：dB</p> <table border="1" data-bbox="842 541 1299 800"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>位置</th> <th>振動レベル(L₁₀)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">昼間</td> <td>敷地境界 北西側</td> <td>< 25</td> </tr> <tr> <td>南東側</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>南西側</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>最大値</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">夜間</td> <td>敷地境界 北西側</td> <td>< 25</td> </tr> <tr> <td>南東側</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>南西側</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>最大値</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 「<25」は予測結果が25dB未満であることを示す。 注2) 昼間：8時～19時、夜間：19時～翌8時</p> <p><予測結果（施設の稼働に伴う振動：周辺地域）> 単位：dB</p> <table border="1" data-bbox="819 940 1317 1087"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>区分</th> <th>予測結果^{注1}(L₁₀)</th> <th>現況値(L₁₀)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">サッカー・野球練習場 (神戸市水道局)</td> <td>昼間</td> <td>< 25</td> <td>< 25</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>< 25</td> <td>< 25</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 施設からの振動寄与レベルを示す。 注2) 「< 25」は予測結果が25dB未満であることを示す。 注3) 昼間：8時～19時、夜間：19時～翌8時</p>	時間	位置	振動レベル(L ₁₀)	昼間	敷地境界 北西側	< 25	南東側	51	南西側	43	最大値	55	夜間	敷地境界 北西側	< 25	南東側	51	南西側	43	最大値	55	予測地点	区分	予測結果 ^{注1} (L ₁₀)	現況値(L ₁₀)	サッカー・野球練習場 (神戸市水道局)	昼間	< 25	< 25	夜間	< 25	< 25	<p>■事業計画上実施することとしている環境保全措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振動が特に大きな機器類については、設置場所の区画化等、必要な対策を実施する。 <p>■影響低減のために検討した環境保全措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に設備機器等の点検を行い、異常の確認された機器類は修理・交換を行うなど、維持管理を適切に行う。 ・本調査ではプラントメーカー等の資料を参考に現段階で想定しうる建物の形状や設備の配置を考慮して予測を実施したが、今後具体的な施設及び設備の計画に当たっては、生活環境保全上の目標値を遵守するために必要な振動対策を改めて検討する。 	<p>■生活環境保全上の目標の設定</p> <p>敷地境界においては「振動規制法」の同法施行規則に基づく「特定工場等において発生する振動の規制に関する基準」を環境の保全に係る基準及び目標とした。</p> <p>また、敷地境界以遠の予測地点（保全対象住居地点）においては、周辺環境の保全の観点から評価を行うべく、「振動感覚閾値」（人が振動を感じ始める値：55dB）を生活環境保全上の目標とした。</p> <p>■生活環境保全上の目標との整合性</p> <p>施設の稼働に伴う振動の予測の結果、敷地境界における振動レベル(L₁₀)は、昼間は北西側敷地境界で25dB未満、南東側敷地境界で51dB、南西側敷地境界で43dBであり、敷地境界上の最大値は55dBと予測される。夜間は北西側敷地境界で25dB未満、南東側敷地境界で51dB、南西側敷地境界で43dBであり、敷地境界上の最大値は55dBと予測される。</p> <p>また、サッカー・野球練習場（神戸市水道局）における振動レベル(L₁₀)は昼間・夜間ともに25dB未満と予測され、現況測定結果も同様に25dB未満であった。</p> <p>いずれも生活環境保全上の目標値を満足することから、生活環境保全上の目標との整合は図られているものと評価する。</p> <p><影響分析の結果（施設の稼働に伴う振動：敷地境界）> 単位：dB</p> <table border="1" data-bbox="2027 772 2605 1020"> <thead> <tr> <th></th> <th>位置</th> <th>振動レベル(L₁₀)</th> <th>環境保全目標値^注</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">昼間</td> <td>敷地境界 北西側</td> <td>< 25</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>南東側</td> <td>51</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>南西側</td> <td>43</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>最大値</td> <td>55</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">夜間</td> <td>敷地境界 北西側</td> <td>< 25</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>南東側</td> <td>51</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>南西側</td> <td>43</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>最大値</td> <td>55</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 振動規制法に規定する基準値を適用した。</p> <p><影響分析の結果（施設の稼働に伴う振動：周辺地域）> 単位：dB</p> <table border="1" data-bbox="1994 1136 2638 1283"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>区分</th> <th>予測結果^{注1}(L_{A5})</th> <th>現況値(L_{Aeq})</th> <th>環境保全目標値^{注2}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">サッカー・野球練習場 (神戸市水道局)</td> <td>昼間</td> <td>< 25</td> <td>< 25</td> <td>(55)</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>< 25</td> <td>< 25</td> <td>(55)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 施設からの振動寄与レベルを示す。 注2) 「振動感覚閾値」（人が振動を感じ始める値：55dB）を適用した。</p> <p>■影響の回避又は低減に係る分析結果</p> <p>施設の稼働に伴う振動の影響を回避又は低減するため、事業計画上想定している環境保全措置を実施することとしているが、さらに影響を低減するため、以下に示す追加的な環境保全措置を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に設備機器等の点検を行い、異常の確認された機器類は修理・交換を行うなど、維持管理を適切に行う。 ・本調査ではプラントメーカー等の資料を参考に現段階で想定しうる建物の形状や設備の配置を考慮して予測を実施したが、今後具体的な施設及び設備の計画に当たっては、生活環境保全上の目標値を遵守するために必要な振動対策を改めて検討する。 <p>以上のことから、施設の稼働に伴う振動の影響は、実行可能な範囲内で回避又は低減されているものと評価する。</p>		位置	振動レベル(L ₁₀)	環境保全目標値 ^注	昼間	敷地境界 北西側	< 25	60	南東側	51	60	南西側	43	60	最大値	55	60	夜間	敷地境界 北西側	< 25	55	南東側	51	55	南西側	43	55	最大値	55	55	予測地点	区分	予測結果 ^{注1} (L _{A5})	現況値(L _{Aeq})	環境保全目標値 ^{注2}	サッカー・野球練習場 (神戸市水道局)	昼間	< 25	< 25	(55)	夜間	< 25	< 25	(55)
時間	位置	振動レベル(L ₁₀)																																																																														
昼間	敷地境界 北西側	< 25																																																																														
	南東側	51																																																																														
	南西側	43																																																																														
	最大値	55																																																																														
夜間	敷地境界 北西側	< 25																																																																														
	南東側	51																																																																														
	南西側	43																																																																														
	最大値	55																																																																														
予測地点	区分	予測結果 ^{注1} (L ₁₀)	現況値(L ₁₀)																																																																													
サッカー・野球練習場 (神戸市水道局)	昼間	< 25	< 25																																																																													
	夜間	< 25	< 25																																																																													
	位置	振動レベル(L ₁₀)	環境保全目標値 ^注																																																																													
昼間	敷地境界 北西側	< 25	60																																																																													
	南東側	51	60																																																																													
	南西側	43	60																																																																													
	最大値	55	60																																																																													
夜間	敷地境界 北西側	< 25	55																																																																													
	南東側	51	55																																																																													
	南西側	43	55																																																																													
	最大値	55	55																																																																													
予測地点	区分	予測結果 ^{注1} (L _{A5})	現況値(L _{Aeq})	環境保全目標値 ^{注2}																																																																												
サッカー・野球練習場 (神戸市水道局)	昼間	< 25	< 25	(55)																																																																												
	夜間	< 25	< 25	(55)																																																																												

表 4-9 現況調査、予測、影響分析の概要

項目	現況調査	予測	環境保全措置	影響の分析																																				
<p>3. 振動(続き)</p> <p>廃棄物運搬車両の走行に伴う振動</p>	<p>■道路交通振動</p> <p>10%時間率振動レベル(L₁₀)の時間区分ごとの最大値は、明石市道大久保147号線では昼間30dB及び夜間27dB、明石市道大久保18号線では昼間42dB及び夜間37dB、神戸市道上新地南古線では昼間30dB及び夜間28dBであり、全ての地点で昼夜間ともに要請限度値を満足していた。</p> <p>■交通量</p> <p>明石市道大久保147号線では、昼間の断面交通量(車両合計)が3,349台(大型車混入率6.2%)、夜間の断面交通量は1,112台(大型車混入率6.3%)であった。</p> <p>明石市道大久保18号線では、昼間の断面交通量(車両合計)が7,121台(大型車混入率8.6%)、夜間の断面交通量は2,878台(大型車混入率3.8%)であった。</p> <p>神戸市道上新地南古線では、昼間の断面交通量(車両合計)が4,511台/日(大型車混入率12.3%)、夜間の断面交通量は1,770台(大型車混入率6.6%)であった。</p> <p>注) 昼・夜の区分は振動に係る規制基準における時間の区分</p> <p>■平均走行速度</p> <p>明石市道大久保147号線の断面における平均走行速度は、43km/hであった。</p> <p>明石市道大久保18号線の断面における平均走行速度は、44km/hであった。</p> <p>神戸市道上新地南古線の断面における平均走行速度は、43km/hであった。</p> <p>■地盤卓越振動数</p> <p>各地点の地盤卓越振動数は49.9～56.5Hzであった。</p>	<p>「現況交通量(2024年(令和6年)5月の交通量調査結果)から予測した振動レベル」と「現況交通量に付加交通量(次の①・②の合計台数:①2023年(令和5年)12月の廃棄物運搬車両台数の日平均値と2023年(令和5年)5月の廃棄物運搬車両台数の日平均値の差分、②プラスチック分別収集の実施に伴う将来的な付加台数)を加算した交通量から予測した振動レベル」の差分(計算上の増加レベル)は0.4～1.0dBとわずかであり、予測結果は、31～42dBとなった。</p> <p><予測結果(廃棄物運搬車両の走行に伴う振動)> 単位: dB</p> <table border="1" data-bbox="926 514 1543 865"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>①現況振動レベル^{注1}(L₁₀)</th> <th>②現況交通量^{注2}により予測した振動レベルと現況交通量に付加交通量^{注3}を加算した交通量により予測した振動レベルの差分(ΔL)</th> <th>予測結果(L₁₀)(①+②)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>明石市道大久保147号線</td> <td>30</td> <td>1(1.0)</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>明石市道大久保18号線</td> <td>42</td> <td>0(0.4)</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>神戸市道上新地南古線</td> <td>30</td> <td>1(0.5)</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 現況振動レベルは2024年(令和6年)5月に実施した振動の現地調査結果を示す。 注2) 現況交通量は、2024年(令和6年)5月に実施した交通量調査結果の台数を示す。 注3) 付加交通量は、以下の①・②の合計台数とする。 ①2023年(令和5年)12月(廃棄物運搬車両台数が最も多くなる時期)の廃棄物運搬車両台数の日平均値及び2023年(令和5年)5月(現況調査を実施した2024年(令和6年)5月と同時期)の廃棄物運搬車両台数の日平均値の差分の台数 ②プラスチック分別収集の将来的な実施に伴う廃棄物運搬車両台数の増加を踏まえた付加台数 注4) 時間区分は昼間:8時から19時。 注5) ()内の数値は、計算上の増加レベルの値を示す。 注6) 表中に記載の数値は、廃棄物運搬車両の走行時間の中で、影響が最も高くなった時間帯の振動レベルを示す。</p>	予測地点	①現況振動レベル ^{注1} (L ₁₀)	②現況交通量 ^{注2} により予測した振動レベルと現況交通量に付加交通量 ^{注3} を加算した交通量により予測した振動レベルの差分(ΔL)	予測結果(L ₁₀)(①+②)	明石市道大久保147号線	30	1(1.0)	31	明石市道大久保18号線	42	0(0.4)	42	神戸市道上新地南古線	30	1(0.5)	31	<p>■事業計画実施することとしている環境保全措置</p> <ul style="list-style-type: none"> 車両の維持管理を徹底し、車両から発生する振動の抑制を図る。 <p>■影響低減のために検討した環境保全措置</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集運搬車両の積載量や、走行速度等の交通法規を遵守し、エコドライブの推進や空ぶかしを行わない等、運搬事業者への指導を徹底する。 	<p>■生活環境保全上の目標の設定</p> <p>振動については、「環境基本法」に基づく環境基準は設定されていない。道路交通振動に適用しうる基準等として、「振動規制法」の同法施行規則に基づく「道路交通振動の要請限度」が定められていることから、これを生活環境保全上の目標とした。</p> <p>■生活環境保全上の目標との整合性</p> <p>「現況交通量から予測した振動レベル」と「現況交通量に付加交通量を加算した交通量から予測した振動レベル」の差分は0.4～1.0dBとわずかであり、予測結果は、31～42dBとなった。</p> <p>予測結果は生活環境保全上の目標値を満足することから、生活環境保全上の目標との整合は図られているものと評価する。</p> <p><影響分析の結果(廃棄物運搬車両の走行に伴う振動)> 単位: dB</p> <table border="1" data-bbox="2006 640 2781 970"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>①現況振動レベル(L₁₀)</th> <th>②現況交通量により予測した振動レベルと現況交通量に付加交通量を加算した交通量により予測した振動レベルの差分(ΔL)</th> <th>予測結果(L₁₀)(①+②)</th> <th>環境保全目標値^{注4}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>明石市道大久保147号線</td> <td>30</td> <td>1(1.0)</td> <td>31</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>明石市道大久保18号線</td> <td>42</td> <td>0(0.4)</td> <td>42</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>神戸市道上新地南古線</td> <td>30</td> <td>1(0.5)</td> <td>31</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 時間区分は昼間:8時から19時。 注2) ()内の数値は、計算上の増加レベルの値を示す。 注3) 表中に記載の数値は、廃棄物運搬車両の走行時間の中で、影響が最も高くなった時間帯の振動レベルを示す。 注4) 環境保全目標値は、「振動規制法に基づく要請限度」を適用した。</p> <p>■影響の回避又は低減に係る分析結果</p> <p>廃棄物運搬車両の走行に伴う振動の影響を回避又は低減するため、事業計画に想定している環境保全措置を実施することとしているが、さらに影響を低減するため、以下に示す追加的な環境保全措置を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集運搬車両の積載量や、走行速度等の交通法規を遵守し、エコドライブの推進や空ぶかしを行わない等、運搬事業者への指導を徹底する。 <p>以上のことから、廃棄物運搬車両の走行に伴う振動の影響は、実行可能な範囲内で回避又は低減されているものと評価する。</p>	予測地点	①現況振動レベル(L ₁₀)	②現況交通量により予測した振動レベルと現況交通量に付加交通量を加算した交通量により予測した振動レベルの差分(ΔL)	予測結果(L ₁₀)(①+②)	環境保全目標値 ^{注4}	明石市道大久保147号線	30	1(1.0)	31	65	明石市道大久保18号線	42	0(0.4)	42	70	神戸市道上新地南古線	30	1(0.5)	31	65
予測地点	①現況振動レベル ^{注1} (L ₁₀)	②現況交通量 ^{注2} により予測した振動レベルと現況交通量に付加交通量 ^{注3} を加算した交通量により予測した振動レベルの差分(ΔL)	予測結果(L ₁₀)(①+②)																																					
明石市道大久保147号線	30	1(1.0)	31																																					
明石市道大久保18号線	42	0(0.4)	42																																					
神戸市道上新地南古線	30	1(0.5)	31																																					
予測地点	①現況振動レベル(L ₁₀)	②現況交通量により予測した振動レベルと現況交通量に付加交通量を加算した交通量により予測した振動レベルの差分(ΔL)	予測結果(L ₁₀)(①+②)	環境保全目標値 ^{注4}																																				
明石市道大久保147号線	30	1(1.0)	31	65																																				
明石市道大久保18号線	42	0(0.4)	42	70																																				
神戸市道上新地南古線	30	1(0.5)	31	65																																				

表 4-10 現況調査、予測、影響分析の概要

項目	現況調査	予測	環境保全措置	影響の分析																																																																																				
4. 悪臭	<p>煙突排ガスの排出に伴う悪臭</p> <p>試料採取及び分析の結果、明石クリーンセンター敷地境界南東側（風上側）、敷地境界北側（風下側）、印路自治会館（風上側）、サッカー・野球練習場（神戸市水道局）（風下側）において、悪臭防止法に係る規制基準値（明石市域：順応地域、神戸市域：第3種区域）及び現有施設における自主基準値を満足していた。</p>	<p>■焼却施設稼働時の煙突排ガスの排出に伴う悪臭</p> <p>最大着地濃度地点における臭気濃度は10未満と予測され、当該値を臭気指数に換算した値は10未満と予測される。</p> <p>また、臭気濃度及び臭気指数10が未満であることを踏まえ、臭気強度は2.5未満になると推定され、特定悪臭物質濃度は臭気強度2.5に該当する濃度未満になると予測される。</p> <p><予測結果（焼却施設稼働時の煙突排ガスの排出に伴う悪臭（臭気濃度、臭気指数））></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測ケース</th> <th>最大着地濃度地点の臭気濃度</th> <th>最大着地濃度地点の臭気指数</th> <th>最大着地濃度地点（距離）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般的な気象条件時（大気安定度不安定時）</td> <td>10未満</td> <td>10未満</td> <td>570m</td> </tr> <tr> <td>上層逆転層発生時</td> <td>10未満</td> <td>10未満</td> <td>460m</td> </tr> <tr> <td>接地逆転層崩壊時（フミゲーション発生時）</td> <td>10未満</td> <td>10未満</td> <td>248m</td> </tr> <tr> <td>煙突ダウンウォッシュ発生時</td> <td>10未満</td> <td>10未満</td> <td>260m</td> </tr> <tr> <td>建物ダウンドラフト発生時</td> <td>10未満</td> <td>10未満</td> <td>530m</td> </tr> <tr> <td>接地逆転層非貫通時</td> <td>10未満</td> <td>10未満</td> <td>8,450m</td> </tr> </tbody> </table>	予測ケース	最大着地濃度地点の臭気濃度	最大着地濃度地点の臭気指数	最大着地濃度地点（距離）	一般的な気象条件時（大気安定度不安定時）	10未満	10未満	570m	上層逆転層発生時	10未満	10未満	460m	接地逆転層崩壊時（フミゲーション発生時）	10未満	10未満	248m	煙突ダウンウォッシュ発生時	10未満	10未満	260m	建物ダウンドラフト発生時	10未満	10未満	530m	接地逆転層非貫通時	10未満	10未満	8,450m	<p>■事業計画で実施することとしている環境保全措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみピット内の空気を燃焼用空気として使用し、焼却炉内で悪臭の高温分解を行う。 ・脱臭装置を設置し、運転停止時の悪臭漏洩防止と発生量の低減を図る。 <p>■影響低減のために検討した環境保全措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設周辺における悪臭の状況を測定し、適切に情報提供を行う。 	<p>■生活環境保全上の目標の設定</p> <p>悪臭については、「悪臭防止法」に基づく規制基準に加え、自主基準が定められていることから、これを生活環境保全上の目標とした。</p> <p>■生活環境保全上の目標との整合性</p> <p>予測結果はいずれも生活環境保全上の目標値を満足することから、生活環境保全上の目標との整合は図られているものと評価する。</p>																																																								
		予測ケース	最大着地濃度地点の臭気濃度	最大着地濃度地点の臭気指数	最大着地濃度地点（距離）																																																																																			
一般的な気象条件時（大気安定度不安定時）	10未満	10未満	570m																																																																																					
上層逆転層発生時	10未満	10未満	460m																																																																																					
接地逆転層崩壊時（フミゲーション発生時）	10未満	10未満	248m																																																																																					
煙突ダウンウォッシュ発生時	10未満	10未満	260m																																																																																					
建物ダウンドラフト発生時	10未満	10未満	530m																																																																																					
接地逆転層非貫通時	10未満	10未満	8,450m																																																																																					
<p>施設からの悪臭の漏洩</p>	<p>現有施設周辺の調査結果及び事業計画における環境配慮事項の内容を考慮して、影響の程度を定性的に予測した。</p> <p>現有施設での悪臭調査結果は、いずれの地点も悪臭防止法に係る規制基準値（明石市域：順応地域、神戸市域：第3種区域）及び自主基準値を満足していた。</p> <p>また、新施設は現有施設と同等の悪臭に係る環境保全措置を講じることとしている。</p> <p>以上より、供用時の焼却施設等からの漏洩に伴う悪臭の影響は極めて小さいと考えられる。</p>	<p>■焼却施設・資源リサイクル施設休止時の排気に伴う悪臭</p> <p>施設休止時の臭気濃度及び臭気指数は、敷地境界において最大となり10未満と予測される。</p> <p>また、臭気濃度及び臭気指数が10未満であることを踏まえ、臭気強度は2.5程度となると推定され、特定悪臭物質濃度は臭気強度2.5に該当する濃度未満になると予測される。</p> <p><予測結果（焼却施設・資源リサイクル施設休止時の排気に伴う悪臭（臭気濃度、臭気指数））></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>臭気濃度</th> <th>臭気指数</th> <th>最大着地濃度地点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10未満</td> <td>10未満</td> <td>敷地境界</td> </tr> </tbody> </table>	臭気濃度	臭気指数	最大着地濃度地点	10未満	10未満	敷地境界	<p><影響分析の結果（焼却施設稼働時の煙突排ガス及び焼却施設・資源リサイクル施設休止時の排気に伴う悪臭）></p> <p>単位：ppm（臭気指数除く）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>悪臭物質等</th> <th>予測結果</th> <th>環境保全目標値^{注3}</th> <th>悪臭物質等</th> <th>予測結果</th> <th>環境保全目標値^{注3}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アンモニア</td> <td>< 1</td> <td>5 (1)</td> <td>イソブタノール</td> <td>< 0.9</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>メチルメルカプタン</td> <td>< 0.002</td> <td>0.01 (0.002)</td> <td>酢酸エチル</td> <td>< 3</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>硫化水素</td> <td>< 0.02</td> <td>0.2 (0.02)</td> <td>メチルイソブチルケトン</td> <td>< 1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>硫化メチル</td> <td>< 0.01</td> <td>0.2 (0.01)</td> <td>トルエン</td> <td>< 10</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>二硫化メチル</td> <td>< 0.009</td> <td>0.1</td> <td>スチレン</td> <td>< 0.4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>トリメチルアミン</td> <td>< 0.005</td> <td>0.07 (0.005)</td> <td>キシレン</td> <td>< 1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>アセトアルデヒド</td> <td>< 0.05</td> <td>0.5</td> <td>プロピオン酸</td> <td>< 0.03</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>プロピオンアルデヒド</td> <td>< 0.05</td> <td>0.5</td> <td>ノルマル酪酸</td> <td>< 0.001</td> <td>0.006</td> </tr> <tr> <td>ノルマルブチルアルデヒド</td> <td>< 0.009</td> <td>0.08</td> <td>ノルマル吉草酸</td> <td>< 0.0009</td> <td>0.004</td> </tr> <tr> <td>イソブチルアルデヒド</td> <td>< 0.02</td> <td>0.2</td> <td>イソ吉草酸</td> <td>< 0.001</td> <td>0.01</td> </tr> <tr> <td>ノルマルバレールアルデヒド</td> <td>< 0.009</td> <td>0.05</td> <td>臭気指数</td> <td>< 10</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>イソバレールアルデヒド</td> <td>< 0.003</td> <td>0.01</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 臭気指数以外は特定悪臭物質濃度を示す。なお、臭気濃度及び臭気指数が10未満であることを踏まえ、臭気強度が2.5未満になると推定された。そのため、特定悪臭物質濃度は、臭気強度2.5に該当する濃度未満になると予測される。</p> <p>注2) 「<」は当該値未満であることを示す。</p> <p>注3) 明石市においては特定悪臭物質濃度による規制を行っており、順応地域の規制基準が適用される。また、神戸市においては臭気指数による規制を行っており、第3種区域の規制基準が適用される。</p> <p>注4) () 内は現有施設における自主基準値を示す。</p> <p>■影響の回避又は低減に係る分析の結果</p> <p>焼却施設稼働時の煙突排ガスの排出及び焼却施設・資源リサイクル施設休止時の排気に伴う悪臭の影響を回避又は低減するため、事業計画で想定している環境保全措置を実施することとしているが、さらに影響を低減するため、以下に示す追加的な環境保全措置を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設周辺における悪臭の状況を測定し、適切に情報提供を行う。 <p>以上のことから、焼却施設稼働時の煙突排ガスの排出及び焼却施設・資源リサイクル施設休止時の排気に伴う悪臭の影響は、実行可能な範囲内で回避又は低減されているものと評価する。</p>	悪臭物質等	予測結果	環境保全目標値 ^{注3}	悪臭物質等	予測結果	環境保全目標値 ^{注3}	アンモニア	< 1	5 (1)	イソブタノール	< 0.9	20	メチルメルカプタン	< 0.002	0.01 (0.002)	酢酸エチル	< 3	20	硫化水素	< 0.02	0.2 (0.02)	メチルイソブチルケトン	< 1	6	硫化メチル	< 0.01	0.2 (0.01)	トルエン	< 10	60	二硫化メチル	< 0.009	0.1	スチレン	< 0.4	2	トリメチルアミン	< 0.005	0.07 (0.005)	キシレン	< 1	5	アセトアルデヒド	< 0.05	0.5	プロピオン酸	< 0.03	0.2	プロピオンアルデヒド	< 0.05	0.5	ノルマル酪酸	< 0.001	0.006	ノルマルブチルアルデヒド	< 0.009	0.08	ノルマル吉草酸	< 0.0009	0.004	イソブチルアルデヒド	< 0.02	0.2	イソ吉草酸	< 0.001	0.01	ノルマルバレールアルデヒド	< 0.009	0.05	臭気指数	< 10	18	イソバレールアルデヒド	< 0.003	0.01				<p>■生活環境保全上の目標の設定</p> <p>悪臭については、「悪臭防止法」に基づく規制基準に加え、自主基準が定められていることから、これを生活環境保全上の目標とした。</p> <p>■生活環境保全上の目標との整合性</p> <p>予測結果はいずれも現有施設と同様に規制基準（明石市域：順応地域、神戸市域：第3種区域）を満足するものと予測され、生活環境保全上の目標値を満足することから、生活環境保全上の目標との整合は図られているものと評価する。</p> <p>■影響の回避又は低減に係る分析の結果</p> <p>施設からの悪臭の漏洩に伴う影響を回避又は低減するため、事業計画で想定している環境保全措置を実施することとしているが、さらに影響を低減するため、以下に示す追加的な環境保全措置を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設周辺における悪臭の状況を測定し、適切に情報提供を行う。 <p>以上のことから、施設からの悪臭の漏洩に伴う影響は、実行可能な範囲内で回避又は低減されているものと評価する。</p>
臭気濃度	臭気指数	最大着地濃度地点																																																																																						
10未満	10未満	敷地境界																																																																																						
悪臭物質等	予測結果	環境保全目標値 ^{注3}	悪臭物質等	予測結果	環境保全目標値 ^{注3}																																																																																			
アンモニア	< 1	5 (1)	イソブタノール	< 0.9	20																																																																																			
メチルメルカプタン	< 0.002	0.01 (0.002)	酢酸エチル	< 3	20																																																																																			
硫化水素	< 0.02	0.2 (0.02)	メチルイソブチルケトン	< 1	6																																																																																			
硫化メチル	< 0.01	0.2 (0.01)	トルエン	< 10	60																																																																																			
二硫化メチル	< 0.009	0.1	スチレン	< 0.4	2																																																																																			
トリメチルアミン	< 0.005	0.07 (0.005)	キシレン	< 1	5																																																																																			
アセトアルデヒド	< 0.05	0.5	プロピオン酸	< 0.03	0.2																																																																																			
プロピオンアルデヒド	< 0.05	0.5	ノルマル酪酸	< 0.001	0.006																																																																																			
ノルマルブチルアルデヒド	< 0.009	0.08	ノルマル吉草酸	< 0.0009	0.004																																																																																			
イソブチルアルデヒド	< 0.02	0.2	イソ吉草酸	< 0.001	0.01																																																																																			
ノルマルバレールアルデヒド	< 0.009	0.05	臭気指数	< 10	18																																																																																			
イソバレールアルデヒド	< 0.003	0.01																																																																																						

第2節 施設の設置に関する計画に反映する事項及びその内容

生活環境影響調査の結果、本施設（設備）の設置に関する計画に反映する事項及びその内容は、表 4-11 に示すとおりである。

表 4-11 施設の設置に関する計画に反映する事項及びその内容

対象とする設備等	施設の設置に関する計画に反映する内容
設備全般	最新の排ガス処理設備を採用し、法規制値より厳しい自主基準を厳守する。
	施設内で発生した粉じんは、集じんダクトで吸引を行い、集じん装置、バグフィルタにより除去したうえで、施設外へ排出する。
	施設内での散水の実施による粉じん発生の低減を図る。
	機器カバーによる粉じん飛散の低減を図る。
	騒音が特に大きな機器類については、設置場所の区画化や吸音材の使用等、必要な対策を実施する。
	振動が特に大きな機器類については、設置場所の区画化など、必要な対策を実施する。
	今後具体的な施設及び設備の計画に当たっては、環境保全上の目標値を遵守するために必要な騒音・振動対策を検討する。
脱臭装置等	ごみピット内の空気を燃焼用空気として使用し、焼却炉内で悪臭の高温分解を行う。
	脱臭装置を設置し、運転停止時の悪臭漏洩防止と発生量の低減を図る。

第3節 維持管理に関する計画に反映する事項及びその内容

生活環境影響調査の結果、本施設（設備）の維持管理に関する計画に反映する事項及びその内容は、表 4-12 に示すとおりである。

表 4-12 維持管理に関する計画に反映する事項及びその内容

対象とする工程等	維持管理に関する計画に反映する内容
受入工程	ごみピットを負圧に保つことにより、外部への悪臭漏洩を防止する。
	施設周辺における悪臭の状況を測定し、適切に情報提供を行う。
燃焼工程 排ガス処理工程 破碎選別工程	焼却炉内の適切な燃焼管理を行うことにより、排ガス量と大気汚染物質の発生を抑制する。
	排ガス濃度や運転管理状況を常時監視し、適切に情報提供を行う。
	定期的に設備機器等の点検を行い、異常の確認された機器類は修理・交換を行うなど、維持管理を適切に行う。
廃棄物の運搬工程	車両の維持管理を徹底し、車両から発生する排ガス・騒音・振動の抑制を図る。
	収集運搬車両の積載量や、走行速度等の交通法規を遵守し、エコドライブの推進や空ぶかしを行わない等、運搬事業者への指導を徹底する。
	排ガス性能に優れた車両を導入し、車両から発生する排ガスの抑制を図る。